

会 告 目 次

会告目次	1
PSJ カレンダー	2
第 39 回通常総会の開催について	5
賛助会員入会のおすすめ	5
研究発表会開催通知	6
第 75 回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会	6
第 83 回マルチメディア通信と分散処理研究会	6
第 17 回オーディオビジュアル複合情報処理研究会	7
第 64 回情報システム研究会	7
第 44 回コンピュータと教育研究会	7
第 116 回計算機アーキテクチャ研究会	8
情報処理学会「行事」申込書	11
「オブジェクト指向 '97 シンポジウム」参加者募集	12
「マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DiCoMo) ワークショップ」参加者募集	14
「DA シンポジウム '97」参加者募集	19
「グラフィクスと CAD シンポジウム」参加者募集	22
「コンピュータ音楽チュートリアル」参加者募集	23
情報処理学会第 55 回全国大会 (平成 9 年後期) 宿泊・航空券のご案内	24
「情報処理学会論文誌」査読制度の改善のお知らせ	28
情報処理学会「書籍」申込書	29
会員の皆様へのお知らせ・お願い	30
人 材 募 集	31
会 議 案 内	18, 21

IPSJ カレンダー

★：共催

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担当
第 105 回コンピュータビジョンとイメージメディア研究会	静岡大	5 月 15 日 (木)	当日のみ	38-4 7p	研
第 45 回情報学基礎研究会	情報処理学会	5 月 15 日 (木)	当日のみ	38-4 7p	研
第 13 回数理モデル化と問題解決研究会	東京農工大	5 月 15 日 (木)	当日のみ	38-4 8p	研
★平成 9 年度工学教育連合講演会	土木学会	5 月 16 日 (金)	当日可	38-4 5p	国
第 57 回アルゴリズム研究会	東京農工大	5 月 16 日 (金)	当日のみ	38-4 8p	研
第 72 回ヒューマンインタフェース研究会	情報処理学会	5 月 16 日 (金)	当日のみ	38-4 8p	研
第 5 回分散システム運用技術研究会	富士通 (名古屋)	5 月 16 日 (金)	当日のみ	38-4 9p	研
第 39 回通常総会	ニューサテライト ホテル芝浦	5 月 20 日 (火)	—	38-5 5p	総
第 13 回プログラミング研究会	情報処理学会	5 月 21 日 (水)	当日のみ	38-4 9p	研
第 18 回グループウェア研究会	情報処理学会	5 月 22 日 (木)	当日のみ	38-4 9p	研
第 114 回ソフトウェア工学研究会	富士通クロスカル チャーセンター	5 月 23 日 (金)	当日のみ	38-4 10p	研
第 34 回人文科学とコンピュータ研究会	静岡大	5 月 23 日 (金)	当日のみ	38-4 10p	研
第 7 回デジタル・ドキュメント研究会	九大	5 月 23 日 (金)	当日のみ	38-4 11p	研
第 84 回設計自動化研究会	情報処理学会	5 月 23 日 (金)	当日のみ	38-4 11p	研
第 108 回知能と複雑系研究会	情報処理学会	5 月 26 日 (金)	当日のみ	38-4 11p	研
第 16 回音声言語情報処理研究会	早大	5 月 26 日 (月)	当日のみ	38-4 12p	研
第 119 回自然言語処理研究会	早大	5 月 26 日 (月) ～ 27 日 (火)	当日のみ	38-4 12p	研
1997 年並列処理シンポジウム (JSPP '97)	神戸市産業振興セ ンター	5 月 28 日 (水) ～ 30 日 (金)	平成 9 年 5 月 15 日 (金)	38-4 30p	研
第 1 回モバイルコンピューティング研究会	情報処理学会	5 月 30 日 (金)	当日のみ	38-4 13p	研
第 20 回音楽情報科学研究会	名古屋音大	5 月 31 日 (土)	当日のみ	38-4 13p	研
★グラフィクスと CAD シンポジウム	早大	6 月 4 日 (水) ～ 5 日 (木)	当日可	38-5 22p	研
★第 75 回システムソフトウェアとオペレーテ ィング・システム研究会	白浜山荘	6 月 5 日 (木) ～ 6 日 (金)	当日のみ	38-5 6p	研

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担当
第 83 回マルチメディア通信と分散処理研究会	情報処理学会	6 月 6 日 (金)	当日のみ	38-5 6p	研
第 17 回オーディオビジュアル複合情報処理研究会	早大	6 月 6 日 (金)	当日のみ	38-5 7p	研
連続セミナー 97 仮想環境社会の今後	工学院大	6 月 13 日 (金)	5 月 30 日 (金) 定員になり次第	38-4 34p	事
第 64 回情報システム研究会	情報処理学会	6 月 18 日 (水)	当日のみ	38-5 7p	研
第 44 回コンピュータと教育研究会	情報処理学会	6 月 20 日 (金)	当日のみ	38-5 7p	研
第 116 回計算機アーキテクチャ研究会	東北大	6 月 27 日 (金)	当日のみ	38-5 8p	研
オブジェクト指向'97 シンポジウム	タイム 24 ビル	7 月 2 日 (水) ～ 4 日 (金)	6 月 27 日 (金)	38-5 12p	研
マルチメディア、分散、協調とモバイル (DiCoMo) ワークショップ	ニセコいこいの村	7 月 2 日 (水) ～ 4 日 (金)	6 月 2 日 (月)	38-5 14p	研
DA シンポジウム '97	ラフォーレ琵琶湖	7 月 10 日 (木) ～ 12 日 (土)	6 月 16 日 (月)	38-5 19p	研
夏のプログラミング・シンポジウム	ホテルリステル浜 名湖	7 月 16 日 (水) ～ 18 日 (金)	6 月 15 日 (日)	38-4 35p	事
コンピュータ音楽チュートリアル	京都府立ゼミナール ハウス	7 月 19 日 (土) ～ 20 日 (日)	7 月 1 日 (火)	38-5 23p	研
連続セミナー 97 ネットワークコンピュータ	工学院大	7 月 24 日 (木)	5 月 30 日 (金) 定員になり次第	38-4 34p	事
平成 9 年電気・情報関連学会連合大会	日本学会会議講堂	8 月 22 日 (金)	—	38-6 掲載予定	事
連続セミナー 97 イン트라ネットの最新動向 とそれを支える技術	工学院大	9 月 19 日 (金)	5 月 30 日 (金) 定員になり次第	38-4 34p	事
情報処理学会第 55 回全国大会	福岡工大	9 月 24 日 (水) ～ 26 日 (金)	当日可	38-4 36p	事
連続セミナー 97 ネットワークとセキュリティ	工学院大	12 月 5 日 (金)	5 月 30 日 (金) 定員になり次第	38-4 34p	事
連続セミナー 97 デジタル図書館	工学院大	平成 10 年 1 月 16 日 (金)	5 月 30 日 (金) 定員になり次第	38-4 34p	事
連続セミナー 97 データウェアハウス	工学院大	3 月 24 日 (火)	5 月 30 日 (金) 定員になり次第	38-4 34p	事

【国 際 会 議】

行 事 名	会 場 名	開 催 日	照 会 先	掲載 ページ	担当
International Conference on Software Engineering (ICSE 98)	京都国際会館	平成 10 年 4 月 19 日 (日) ～ 25 日 (土)	事務局	38-4 38p	国

【論文募集】

行 事 名	会 場 名	開 催 日	論文(応募)締切	掲載 ページ	担当
★第 27 回安全工学シンポジウム講演	日本学会会議講堂	7 月 3 日 (木) ～ 4 日 (金)	—	38-1 23p	編
情報処理学会第 55 回全国大会併設国際シンポジウム	福岡工大	9 月 24 日 (水) ～ 26 日 (金)	—	38-3 18p	事
情報処理学会第 55 回全国大会	福岡工大	9 月 24 日 (水) ～ 26 日 (金)	6 月 13 日 (金)	38-3 10p	事
ISAAC '97	シンガポール	12 月 17 日 (水) ～ 19 日 (金)	5 月 30 日 (金)	38-4 37p	国
論文誌特集号 「次世代ヒューマンインタフェース・インタラクション」	—	—	6 月 30 日 (月)	38-1 21p	編
論文誌特集号 「新世代データベース技術：インターネット・マルチメディア・モバイルを中心として」	—	—	8 月 29 日 (金)	38-3 5p	編

【支 部】

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担当
北陸支部 支部総会	金沢工大	5 月 16 日 (金)	—	38-4 42p	陸
中国支部 支部総会	中国電力	5 月 16 日 (金)	—	38-4 42p	中
関西支部 支部総会	関西情報センター	5 月 16 日 (金)	—	38-4 42p	西
東海支部 支部総会	愛知厚生年金会館	5 月 23 日 (金)	—	38-4 42p	海
東北支部 平成 9 年度電気関係学会東北支部 連合大会	日大 (郡山)	8 月 26 日 (火) ～ 27 日 (水)	・	38-4 43p	東

注 1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。

注 2) 研究会の発表申込締切は開催日の 90 日前です。年間予定表および研究会発表申込書は 2, 4, 8 月号に掲載されています。

注 3) 担当欄の記号は次のとおりです。研: 研究会係, 事: 事業係, 国: 国際係, 編: 編集係, 総: 総務係, 経: 経理係, 会: 会員係, 北: 北海道支部, 東: 東北支部, 海: 東海支部, 陸: 北陸支部, 西: 関西支部, 中: 中国支部, 四: 四国支部, 九: 九州支部。各行事についての問合せ等は担当係までお願いします。

第 39 回通常総会の開催について

第 39 回通常総会を下記により開催いたします。ぜひご出席ください。

記

- 日 時 平成 9 年 5 月 20 日 (火) 16 : 00 ~ 17 : 40
 会 場 ニューサテライトホテル芝浦 鳳凰の間 (情報処理学会事務局隣)
 総会次第
1. 会長挨拶
 2. 平成 8 年度事業報告および決算報告
 3. 平成 9 年度事業計画および予算審議
 4. 会費滞納会員の取扱いについて
 5. 名誉会員の推挙について
 6. 平成 8 年度功績賞の発表と表彰
 7. 平成 8 年度論文賞の発表と表彰
 8. 平成 8 年度 Best Author 賞の発表と表彰
 9. 平成 8 年度坂井記念特別賞の発表と表彰
 10. 平成 9 年度役員改選について
 11. その他

なお、総会終了後ささやかな懇親パーティ (無料) を行います。会員が一堂に会し、直接お話しができる得難い機会ですので、皆さまのご出席をお待ちしております。

賛助会員入会のおすすめ

本学会は日々発展し続ける情報メディア分野の先駆者として、会員の方々を中心に、学界・官界および産業界のご支援を得て、調査研究、論文発表、国際会議開催等の活動を続けております。

お近くに、入会をご希望の方および企業・団体がおられましたらご紹介ください。

- 資 格 本会の目的に賛同される方または団体
 会 費 1 口 50,000 円 / 年間 (何口でも加入できます)

- 特 典
1. 口数に応じて研究会優遇登録制度があります。
 2. 研究発表会、全国大会、セミナー、シンポジウム等に正会員に準じて会員特価で参加できます。
 3. 本学会編集図書が会員特価で購入できます。
 4. 学会誌「情報処理」(約 30,000 部 / 月) に人材募集記事が掲載できます。
 5. 賛助会員名簿配布、賛助会員名を 8 月号会誌掲載。

詳しい内容等詳細につきましては照会先にご連絡ください。

- 照 会 先 情報処理学会 会員係
 〒 108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
 e-mail: mem@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

研究発表会開催通知

(平成9年6月5日～6月27日)

◆第75回 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会

(発表件数: 20件)

(主査: 徳田英幸, 幹事: 石川 裕, 梅村恭司, 柴山茂樹)

日 時 平成9年6月5日(木) 13:00～17:45

6日(金) 9:00～15:30

会 場 白浜山荘

[和歌山県西牟婁郡白浜町 3300. 紀勢線: 白浜下車, タクシーで約10分, またはバス(新湯崎行): 白浜桟橋下車, 徒歩10分以内. 南紀白浜空港からはタクシーで約15分. Tel(0739)42-2213]

議 題 特集: 新時代に向けたコンピュータシステム/オペレーティングシステム, および一般

6月5日(木)

[13:00～15:00] ●マイクロカーネル

(1) 次世代OSのためのマイクロカーネルトレーアーキテクチャ 盛合 敏(NTT), 徳田英幸(慶大)

(2) マイクロカーネルLavenderの構成 芝 公仁, 佐脇秀登, 豊岡 明, 毛利公一, 大久保英嗣(立命館大)

(3) OS/omicon 第4版におけるデータ管理機構の設計と実現

高野了成, 佐藤元信, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡(農工大)

(4) Mach マイクロカーネルシステムのMIPSアーキテクチャへの移植

光澤 敦(NTT), 林 和則, 田中浩一(ソニー)

[15:15～17:45] ●OSシステムと資源管理

(5) Tenderにおけるヘテロ仮想記憶の設計 長嶋直希, 谷口秀夫, 牛島和夫(九大)

(6) Tenderにおける永続制御機能 市川正也, 谷口秀夫, 牛島和夫(九大)

(7) 汎用並列オペレーティングシステムにおける資源保護と仮想化 松本 尚, 平木 敬(東大)

(8) ペンコンピュータのUnix 大木敦雄, 久野 靖(筑波大), 角田博保(電通大), 粕川正充(お茶の水女子大)

(9) UNIX上で周期スレッドを実現するユーザレベルスレッドライブラリの実現法

安倍広多, 松浦敏雄(大阪市立大), 安本慶一(滋賀大), 東野輝夫, 谷口健一(阪大)

6月6日(金)

[9:00～10:00] ●コンピュータシステム教育

(10) 命令実装可能な教育用コンピュータシステムの開発 木村真也(群馬高専), 鹿股昭雄(仙台電波高専)

(11) 高専におけるフルカスタムLSI設計教育に関する一検討～大規模集積システム設計教育研究センター第1回試作テストランに参加して～ 伊藤一彦(NEC米沢), 中林 撰, 鹿股昭雄, 浅見誠治, 我那嶺尚弘(仙台電波高専)

[10:00～12:00] ●リアルタイム/マルチメディアシステム

(12) Javaのreal-time拡張 三好昭彦, 喜多山卓郎, 徳田英幸(慶大)

(13) OSパーソナリティとしてのJavaVMの利用 高野陽介(NEC)

(14) 帯域保証型通信環境における連続メディアQOS制御 戸辺義人, 徳田英幸(慶大)

(15) RT-MachにおけるPC間高速通信機構の評価 古屋晋二, 森 康浩, 佐々木真司, 金子克幸(松下電器)

[13:00～15:30] ●ネットワーク/インターネット

(16) ネットワークサーバ向けのLispシステムの実現 梅村恭司, 貴島寿郎, 山中 徹(豊橋技科大)

(17) WSクラスタにおけるスケーラブルネットワーク機構 中條拓伯, 中野智行, 金田悠紀夫(神戸大)

(18) ニュースグループごとに配送方式を自動変更するNetNewsシステムの評価

舟阪淳一, 山本和彦, 福田 晃(奈良先端大)

(19) IPv4とIPv6のトランスレータに関する考察 山本和彦, 角川宗近(奈良先端大), 島 慶一(シャープ)

(20) 次世代IP用のネットワーク・インターフェース管理機構 三須健太郎, 山本和彦(奈良先端大)

*電子情報通信学会(コンピュータシステム研究会)と共催.

*5日に懇親会を予定しております. 奮ってご参加ください.

◆第83回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(発表件数: 11件)

(主査: 滝沢 誠, 幹事: 小花貞夫, 玉置政一, 東野輝夫)

日 時 平成9年6月6日(金) 10:00～16:45

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

[東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F. JR(山手線, 京浜東北線): 田町(東口)下車, 徒歩7分. または地

下鉄（浅草線，三田線）：三田下車，徒歩 10 分。Tel(03)5484-3535]

題

10：00～12：00]

- 1) 行動科学を利用した組織内情報共有化システムの提案 松岡英俊，伊藤裕康（富士通研）
- 2) マルチメディアセッション制御プロトコルとそのビデオコンファレンスへの適用 水町真理，石川憲洋，塩川鎮雄（NTT）
- 3) 部分トランザクションの独立性を考慮した入れ子トランザクションモデル 内田和之，多田知正，樋口昌宏，藤井 護（阪大）
- 4) ジョブ配送システム JAM/JC におけるユーザエージェントのジョブ特性推測方法の検討 久田なつみ，渡辺 尚，太田 剛，水野忠則（静岡大）

13：00～16：45]

- 5) インターネット電子決済の現状と動向 伊藤裕康，小村昌弘，岩瀬詔子（富士通研）
- 6) TCP トラフィックの帯域保証における優先度制御の有効性評価 久田裕介，小野 諭（NTT）
- 7) 広域網におけるネットワーク応答特性プロトコルの実装と評価 河合 東，太田 賢，渡辺 尚，水野忠則（静岡大）
- 8) Distributed Consensus Protocol with Partially Ordered Domain 下城 巖，滝沢 誠（東京電機大）
- 9) QoS を保証しないネットワークのための輻輳制御機能を有する連続メディア情報転送プロトコル 加藤聡彦（KDD），木村 昭（電通大），鈴木健二（KDD）
- 10) WWW における動的経路制御を用いた多段キャッシュシステム 田中友英，篠田陽一（北陸先端大）
- 11) AS 間経路制御監視システムに関する一考察 上水流由香（NTT）

◆第 17 回 オーディオビジュアル複合情報処理研究会

（発表件数：5 件）

（主査：一之瀬進，幹事：児玉 明，小谷野浩，松本修一）

日 時 平成 9 年 6 月 6 日（金）13：00～17：00

会 場 早稲田大学理工学部 55 号館 N 棟 1F 第一会議室

[東京都新宿区大久保 3-4-1. JR または地下鉄：高田馬場下車，徒歩 10 分。Tel(03)3203-4141]

議 題 テーマ：MPEG2 応用，およびマルチメディア一般

- 1) 特別講演：デジタル放送の技術－PerfecTV における技術とサービス 橋本和彦（PerfecTV）
- 2) 1 チップ MPEG-2 MP@ML ビデオエンコーダ LSI の開発 大西 修，大井 康，横山 裕，片山陽一，水野正之，山品正勝，高野秀人，林 直哉，民谷一郎（NEC）
- 3) MPEG2 ライブ映像多重伝送用 PC ボードの開発 渡邊和文，伊藤 誠，笠原久嗣（NTT）
- 4) トレリスービタビアルゴリズムによる可変レート制御の最適化 浜田高宏，宮地悟史，松本修一（KDD）
- 5) 圧縮映像を対象とした高速検索手法の一検討 粕谷英司，前田鏡二，宮森 恒，富永英義（早大）

*電子情報通信学会（画像工学研究会），IEEE 東京支部（BT グループ）協賛。

◆第 64 回 情報システム研究会

（発表件数：5 件）

（主査：黒川恒雄，幹事：阿部昭博，魚住 董，内木哲也）

日 時 平成 9 年 6 月 18 日（水）13：30～17：00

会 場 情報処理学会 会議室（芝浦）（所在地は前記参照）

議 題 特集：インターネット技術活用の現状と課題，および一般

- 1) 要求分析の複雑性 会田邦夫（川口短大）
- 2) インターネット時代における大学の情報サービスの考え方 内木哲也（東洋大）
- 3) 汎用的な sybperl を用いた図書館データベースと WWW の連携 遠藤教昭，竹谷隆則，進藤浩一（岩手大）
- 4) イントラネット活用電子部品情報システム 大師堂清美，西野義典（三菱電機）
- 5) オブジェクト DB を適用した大規模イントラネット情報共有システム 今福幸春（NTT データ）

◆第 44 回 コンピュータと教育研究会

（発表件数：5 件）

（主査：大岩 元，幹事：河合和久，河村一樹，小林 修）

日 時 平成 9 年 6 月 20 日（金）13：00～17：45

会 場 情報処理学会 会議室（芝浦）（所在地は前記参照）

議 題

- (1) 招待講演：メディアを軸にした学習環境の構築と運用－慶應 SFC「社会調査法」の試み－ 妹尾堅一郎（産能大）
 (2) 招待講演：意思決定のための情報技術活用－表計算ソフトを中心として－ 高橋三雄（筑波大）
 (3) 情報教育におけるキーボード 大岩 元（慶大）
 (4) グループ活動における思考ナビゲーション・システム 三浦信宏（日本 IBM）
 (5) ネットワークボランティアの活用による小学生の学習環境の高度化 五藤博義（学習環境研究所）

◆第 116 回 計算機アーキテクチャ研究会

（発表件数：8 件）

（主査：中島 浩，幹事：木村康則，関口智嗣，宮田裕行）

日 時 平成 9 年 6 月 27 日（金）12：45～17：00

会 場 東北大学 工学部 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー セミナールーム

〔仙台市青葉区荒巻字青葉，東北大学工学部機械工学科内。JR：仙台下車，バス（広瀬通・理・工学部経由青葉城址循環行）：量子エネルギー工学科前下車，徒歩 3 分。Tel(022)217-7013〕

議 題

- (1) 書き込み専用命令をもつ VLIW 計算機 安倍正人（岩手大）
 (2) TLB-Assisted Cache 鈴木健一（宮城工業高専），大庭信之（日本 IBM），小林広明，中村維男（東北大）
 (3) 大規模データバスプロセッサの構想 中村友洋，吉瀬謙二，辻 秀典，安島雄一郎，田中英彦（東大）
 (4) Java Virtual Machine アーキテクチャの実装に関する研究 清水尚彦（東海大），青柳真佐樹（日本 DEC）
 (5) SPMD モデルによる関数型プログラム実行の一検討 中泉光広，沈 紅，小林広明，中村維男（東北大）
 (6) ディスクアレイのキャッシュ上圧縮データ管理方式 小原清弘（日立）
 (7) ウェーハスタック構造型超並列コンピュータネットワーク：TESH
 堀口 進（北陸先端大），大木孝之（日本ビクター），V.K.Jain（Univ. of South Florida, U.S.A.）
 (8) SOUND コンピュータの試作
 槻岡秀朗（フレンドリーシステムズ），籠屋 健，笹尾和宏，高橋雅哉，中村維男（東北大）

◆第 117 回 計算機アーキテクチャ研究会

◆第 76 回 システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会

◆第 67 回 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

◆第 14 回 プログラミング研究会

1997 年並列／分散／協調処理に関する『火の国』サマー・ワークショップ（SWoPP 阿蘇 '97）

参 加 募 集

上記 4 研究会は、「1997 年並列／分散／協調処理に関する『火の国』サマー・ワークショップ（SWoPP 阿蘇 '97）」と題し，並列／分散／協調処理を横断的なキーワードとして，研究会を同時・連続開催いたします。プログラムは次々号（7 月号）に掲載いたしますが，各研究会の開催日程および宿泊・交通等に関するお問合わせ先をご案内いたします。多数の方々のご参加をお待ちしています。

各研究会は以下のようなテーマで開催されます。

- ARC：並列／分散／協調システムの支援アーキテクチャ技術と評価
- OS：並列／分散／協調システムソフトウェア
- HPC：並列分散処理によるハイパフォーマンスコンピューティング技術
- PRO：並列／分散／協調プログラミング言語と処理系

日 程 平成 7 年 8 月 19 日（火）・20 日（水） ハイパフォーマンスコンピューティング研究会（HPC）
 20 日（水）～22 日（金） 計算機アーキテクチャ研究会（ARC）
 21 日（木） システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会（OS）
 21 日（木）・22 日（金） プログラミング研究会（PRO）

会 場 グリーンピア南阿蘇（熊本県阿蘇郡久木野村）

宿泊・交通等に関する問合せ

SWoPP'97 では便利な宿泊・交通のバックを用意する予定です。この件に関しては以下にお問合わせください。

日本交通公社熊本支店 担当：鰐口，山下（SWoPP 阿蘇 '97）

Tel(096)322-4114（9：30～17：30，祝日休） Fax(096)325-8105

また、バックの申込フォーマット等に関しては下記のメイリングリストにて配布いたします。なお、本年は開催時期がハイシーズンになるため、宿泊・交通に関しては非常に早期のご予約が必要となります。上記へのお問い合わせは6月上旬にお願いします。また、メイリングリストにはぜひご加入ください。

SWoPP 阿蘇'97 に関する問合せ（電子メールによるお問合せを歓迎します。）

朴 泰祐（筑波大） Tel(0298)53-5518 Fax(0298)53-5206 e-mail:swopp97-secretary@etl.go.jp

メイリングリストによる情報提供

SWoPP に関するメイリングリストを開設しています。SWoPP に関する最新の詳しい情報が必要な方はぜひ本文に add YOUR-ADDRESS とだけ書いた電子メールを swopp-request@etl.go.jp 宛に送ってください。

（必ず YOUR-ADDRESS のところをご自分のメールアドレスと置き替えて下さい。）自動的にメイリングリストに登録され、以後最新情報が送られます。

WWW による情報提供

SWoPP に関する WWW による情報提供を行っています。プログラム、会場案内、その他の情報をリアルタイムで提供しております。

URL = <http://www.etl.go.jp/Meetings/SWoPP/> にアクセスしてください。

*なお、SWoPP 阿蘇'97 の一環として、電子情報通信学会（コンピュータシステム研究会・フォールトトレラントシステム研究会）を同時・並行開催いたします。詳しくは電子情報通信学会誌（7月号）をご覧ください。

研究会 論文募集

発表申込方法 研究会発表申込書の様式で、発表題目、発表者名（登壇者に○）、略称所属、概要（50字程度）、発表申込者連絡先（住所、氏名、Tel., Fax., e-mail）を明記の上、各研究会照会先まで **e-mail** または **Fax** で直接お申し込みください。下記の研究発表会以外および特に指定がない研究会は、事務局研究会担当宛（e-mail：sig@ipsj.or.jp Fax.(03)5484-3534）に開催日の3ヵ月前までにお申し込みください。

◆ソフトウェア工学研究会

日 程 平成9年7月31日（木）・8月1日（金）

会 場 日本大学 工学部（福島県郡山市）

*発表申込締切、照会先は前号（4月号）本欄をご参照ください。

◆知能と複雑系研究会

ネットワーク社会の進展にともない巨大な情報共有の場が出現する一方で、大量かつ非正規的で多様なデータに埋没した有用情報を抽出する技術の要請が高まっています。この問題に関する研究発表会を下記の通り共催で開催します。

日 程 平成9年8月30日（土）

会 場 名古屋サンプラザ（予定）

議 題 テーマ：データマイニング-複雑システムからの知識発見-

発表申込締切 平成9年5月30日（金）

照 会 先 石川 孝（木更津高専） e-mail:takashi@j.kisarazu.ac.jp Fax(0438)98-5717

*人工知能学会（知識ベースシステム研究会）と共催。

*研究会終了後、懇親会を予定しています。

◆第1回 電子化知的財産・社会基盤研究グループ研究会

（発表件数：10件）

（主査：森 亮一，幹事：工藤育男，名和小太郎，松本恒雄）

知的財産権に関する法律の整備は現在最も緊急の課題である。この問題を中心に、倫理や社会制度的な問題について討論する場を提供したい。この分野の専門家も非専門家も集って、技術屋、法律家、エンジニア、ロイヤー、エコノミスト、ジャーナリストという既成の枠を越えて議論できる場を提供できればと考えている。

参加ご希望の方は下記照会先宛にご連絡ください。多く皆さまのご参加をお待ちしています。

日 時 平成 9 年 6 月 7 日 (土) 10 : 00 ~ 17 : 40 (*受付開始 : 9 : 30)

会 場 成蹊大学

[東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1. JR (中央線) : 吉祥寺 (北口) 下車, 関東バス : 成蹊学園前下車.

Tel(0422)37-3503]

議 題

[10 : 00 ~ 12 : 00] ●講演

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| (1) 情報の共有と私有 | 名和小太郎 (関西大) |
| (2) 電子商取引におけるコンテンツの流通 | 松本恒雄 (一橋大) |
| (3) コンテンツ提供者と利用者の立場から見た著作権関連の権利 | 江原暉将 (NHK) |
| (4) コンピュータウィルスと情報化社会 | 中村 達 (IPA) |

[13 : 20 ~ 14 : 20] ●基調講演

- | | |
|----------------------|---------------|
| (5) デジタル情報の無証拠性とその影響 | 森 亮一 (神奈川工科大) |
|----------------------|---------------|

[14 : 30 ~ 15 : 30] ●講演

- | | |
|------------------------------|------------|
| (6) 電子情報通信技術者かた見た知的財産権の動向と課題 | 苗村憲司 (慶大) |
| (7) 情報通信分野における研究と倫理 | 塚本享治 (電総研) |

[15 : 40 ~ 17 : 40] ●シンポジウム : 電子図書館の制度的問題

- | | |
|------------------------|---------------------|
| (8) 電子図書館サービスにおける著作権処理 | 安達 淳 (学情センター) |
| (9) 誰のための図書館電子化か ? | 津野海太郎 (晶文社) |
| (10) データベースの法的保護と利用 | 吉田正夫 (三木・吉田法律特許事務所) |

参 加 費 会員 : 1500 円, 学生会員 : 500 円, 非会員 : 2,500 円

照 会 先 工藤育男 (ジャストシステム) e-mail: Ikuo_Kudo@justsystem.co.jp Fax(03)5412-5890

*ホームページ : <http://sda.k.tsukuba-tech.ac.jp/sig-eip/> もご参照ください。

*メーリングリストへの登録方法

本研究グループのメーリングリスト : eip-member@k.tsukuba-tech.ac.jp を作成しております。登録方法は上記ホームページを参照してください。研究会の開催案内や討論の場として活用していただけます。

*第 2 回目以降の予定 : 一般講演を受け付けております。主査・幹事宛 eip-sec@k.tsukuba-tech.ac.jp にご連絡ください。

・第 2 回 平成 9 年 10 月 4 日 (土) 早大 (予定) 申込締切 : 平成 9 年 7 月末日 原稿締切 : 平成 9 年 9 月 15 日 (月)

・第 3 回 平成 10 年 1 月 24 日 (土) 情報大 (予定) 申込締切 : 平成 9 年 10 月末日 原稿締切 : 平成 9 年 12 月 25 日 (木)

◆第 5 回 システム評価研究グループ研究会開催のお知らせおよび発表募集

日 程 平成 9 年 6 月 20 日 (金) 13 : 00 ~ 16 : 15

会 場 会津大学

[会津若松市一箕町鶴賀。所在地の案内などは <http://www.u-aizu.ac.jp/welcome.jp.html> をご覧ください。]

発表申込締切 平成 9 年 5 月 20 日 (火) * 1 件当たり 40 分ないし 60 分程度お話ししていただける予定です。

発表希望の方は、下記申込照会先まで、題名、発表者、所属をお知らせください。

議 題 情報処理システムのソフトウェア、ハードウェアなどの広い視野からの評価、および、具体的な、性能、信頼性、機能の豊かさ等についての評価の方法論、評価技法と評価結果、ツール、モデル化技術等。

申込・照会先 李 頌 (筑波大学 電子・情報工学系) e-mail: lijie@is.tsukuba.ac.jp Tel/Fax(0298)53-5521

宿泊先情報 <http://wonderclub.co.jp/hotel/> から 福島→会津若松と辿れます。

*会津大学は会津若松の北に位置しているので、ホテルによっては遠くなります。(駅前などが便利でしょう)

*研究会終了後、16 : 30 から 17 : 30 まで会津大学側のご好意で大学のマルチメディアセンターなどの見学を用意しております。その後、ささやかな親睦会を行う予定です。この懇親会に参加される方の人数を把握するため、参加する予定のある方は 6 月 1 日までにご連絡ください。

*本研究グループの関係者の方を登録した mailing-list として system_evl_mlist@osdp.is.tsukuba.ac.jp があります。

その mailing-list に、ご自分のご連絡先を新たに付け加えたい方は、sysevl@osdp.is.tsukuba.ac.jp 宛に「SUBSCRIBE SYSTEMEVL, お名前, ご所属」をこの順に記して送ってください。この mailing-list に登録された方々には、本研究グループの毎回の発表募集と研究会開催の案内を電子メールによりお送りいたします。また、すでに登録されている方で新年度から連絡先などの変更がある方も sysevl@osdp.is.tsukuba.ac.jp 宛に「CHANGE SYSTEMEVL, お名前, ご所属」をこの順に記してお送りください。よろしく願います。

情報処理学会「行事」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

行事 No., 参加費, 論文集代につきましては会告各行事欄をご参照ください。
欠席の場合も参加費は返金いたしません。
会員の方は必ず会員 No.を記入してください。記入されていない場合は非会員とさせていただきます。

申込者 (A は該当番号に○)				
A : 会員/非会員	(1) 会員	(2) 主催研究会登録会員	(3) 学生	(4) 非会員
B : 会員 No.			C : ご氏名	
D : 勤務先			E : ご所属	
F : 郵便番号		G : ご住所		
H : Tel			I : Fax	
J : e-mail				

送付先, 照会先などが上記と異なる場合のみ下記に記入	
K :	

申込行事	
L : 行事 No.	
M : 参加費	円
N : 懇親会費	円
O-1 : 論文集のみ	円
O-2 : 論文集のみ	冊

アンケート* 宿泊付行事のみ記入 (部屋割参考)	
P : 性別	(1) 女性 (2) 男性
Q : たばこ	(1) すう (2) すわない
R : 年齢	(1) 20 代 (2) 30 代 (3) 40 代 (4) 50 代以上
S : 通信欄	

T : 支払方法 (該当番号に○)	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *	
	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *	
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *	
	(4) 当日持参	
	(5) 現金書留	
	[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] * : 送金日を分かる範囲で記入	
U : 送金名義人		
V-1 : 請求書 通	V-2 : 見積書 通	V-3 : 納品書 通
W : 請求書記載名義		
X : 送金に関する問合せ先		

申込先 (社) 情報処理学会 研究会/事業係	
〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F	
Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 e-mail:sig@ipsj.or.jp (研究会・シンポジウム)	
e-mail:jigyo@ipsj.or.jp (事業・全国大会・連続セミナー)	
* e-mail での申込み: 各項目はカンマ (,) で区切り, (1) ... (5) は選択, その他は文字を記入のこと.	
[例] A : (1), B : 9999999, C : 情報太郎, ... T : (1) (1 月 30 日送金予定), U : 情報太郎, V-1 : 1, V-2 : 1, V-3 : 1, W : (株) ××電気, ...	

行事 No. S-SE97-1

「オブジェクト指向 '97 シンポジウム」参加者募集

オブジェクト指向技術はソフトウェアやソフトウェア開発の広範な領域に影響を及ぼしており、さらにネットワークの普及に伴う分散オブジェクト技術の世界も急速に拡大しています。こうしたオブジェクト指向の理論から実践にわたる最新の研究・開発・実践成果の交流の場としてオブジェクト指向'97 シンポジウムを開催します。初心者から上級者までを対象とした多彩なプログラムを企画しました。多数の参加をお待ちしています。

日 時 平成9年7月 2日(水) 10:00～17:45

3日(木) 10:00～17:45

4日(金) 10:00～17:30

会 場 タイム 24 ビル セミナールーム(臨海副都心) *参加申込みの方には詳細を後日送付。

主 催 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会

参 加 費 会員: 25,000 円, 研究会登録会員: 20,000 円, 非会員: 30,000 円, 学生: 5,000 円
(いずれも論文集, チュートリアル/ワークショップ資料を含む)

資料のみ 5,000 円(論文集, チュートリアル/ワークショップ資料, 送料込)

申込方法 本号会告欄の行事申込書により郵送, Fax, e-mail, または WWW によりお申込みください。

申込締切 平成9年6月27日(金)

申込/照会先 (社) 情報処理学会 シンポジウム係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
e-mail: sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

<http://www.ipsj.or.jp/sympo/mgyoji.html>

備 考 本シンポジウムは下記のソフトウェア工学研究会ホームページでもご案内しています。

<http://www.comp.ac.keio.ac.jp/lab/iijima/sigse.html>

プ ロ グ ラ ム

7月2日(水) <チュートリアル/ワークショップ>

● [10:00～11:45] チュートリアル (3トラック)

○ T11: オブジェクト指向基礎—方法論からソフトウェアアーキテクチャへ

中谷多哉子 (東大)

○ T21: JAVA による分散システム開発 (仮題)

未定

○ T31: オブジェクト指向とデータベース

野口喜洋 (松下電器産業)

● [12:45～14:30] チュートリアル (3トラック)

○ T12: 分析・設計方法論

羽生田栄一 (オージス総研)

○ T22: ActiveX による分散システム開発

萩原正義 (マイクロソフト)

○ T32: 開発事例に学ぶ

司会: 岸 知二 (NEC)

・ビジネスシステムへの適用

鈴木由美子 (三菱電機)

・通信システムの開発・保守

田中 実 (NEC)

未定

● [14:45～16:30] チュートリアル (3トラック)

○ T13: デザインパターンへの適用によるフレームワークの構築

吉田和樹 (東芝)

○ T23: オブジェクト指向プログラミング (仮題)

未定

○ T33: アプリケーションフレームワークとビジネスオブジェクト

上原三八 (富士通研)

● [16:45～17:45] ワークショップ

○ オブジェクト指向モデリングワークショップ (第1部: 問題説明)

コーディネータ: 鯨坂恒夫 (和歌山大), 中谷多哉子 (東大)

7月3日(木) <招待講演/テクニカルセッション/パネル>

● [10:00～10:15] 開会の挨拶

未定

● [10:15～11:30] 招待講演

・オブジェクト指向方法論の形式化

片山卓也 (北陸先端大)

● [12:45～14:15] テクニカルセッション (3トラック)

○セッション A1 : 分散システム

- ・ CORBA を利用した分散協調型シミュレーション基盤 林 富彦, 郡司 勝, 服部吉洋 (NEC)
- ・ 問題向け設計言語ベースの AP 構築支援ツール 中島 震, 友部 実, 三木雅人 (NEC)
- ・ UNIX プロセスの分散オブジェクト化—プロセスオブジェクトモデルの提案— 上原 均, 島山正行 (茨城大)

○セッション B1 : パターン技術

- ・ パターンを用いたアーキテクチャ設計 野田夏子, 岸 知二 (NEC)
- ・ SGML によるデザインパターンの構造化文書化 大月美佳, 瀬川淳一, 吉田紀彦, 牧之内顕文 (九大)

○セッション C1 : 分析と仕様化

- ・ 多重視点の問題領域におけるオブジェクトの組織化過程 中谷多哉子, 玉井哲雄 (東大)
- ・ ADynamicEvolutionofDistributedSystems Issam A.Hamid (東北芸術工科大)

● [14 : 30 ~ 16 : 00] テクニカルセッション (2 トラック)

○セッション A2 : パターン適用事例

- ・ デザインパターン考察によるネットワークアプリケーションフレームワークの最適解探求 不破康人, 福村真奈美, 萩本順三 (NJK)
- ・ パターンを用いた分散オブジェクト指向ソフトウェアの開発事例 友納正裕, 中島 震, 山中淳彦, 登内敏夫 (NEC)
- ・ 金融アプリケーション開発におけるパターン適用 山本里枝子, 上原忠弘 (富士通研)
- 赤木 豊 (富士通金融システムズ), 石田修一, 藤田雅人 (富士通), 吉田裕之 (富士通研)

○セッション B2 : プログラム解析とリエンジニアリング

- ・ オブジェクト指向プログラミングにおける変更履歴を用いた新規クラスの自動生成 丸山勝久, 島 健一 (NTT)
- ・ 差分プログラムに基づくハイパーメディア型文書管理システムのイントラネット化 窪野哲光 (東京電力)
- ・ リバース情報を活用したオブジェクト指向によるシステム再構築技術 佐能克明, 川上博之, 新井一人 (川崎製鉄), 千葉寛之, 秋庭真一, 永岡郁代 (日立)

● [16 : 15 ~ 17 : 45] 全体パネル

- ・ パターンははたして有効か (仮題) パネラ : 未定

7月4日 (金) <招待講演/テクニカルセッション/ワークショップ/パネル>

● [10 : 00 ~ 11 : 15] 招待講演

- ・ オブジェクト指向開発に必要なもの (仮題) Adele Goldberg

● [12 : 30 ~ 14 : 00] テクニカルセッション (2 トラック)

○セッション A3 : アプリケーション開発プロセス

- ・ オブジェクト指向フレームワーク利用手法の提案—フレームワーク構築プロセスの再利用— 名取万理, 本位田真一 (東芝)
- ・ ビジネスオブジェクト開発における設計と実装 北山彦彦 (日本 IBM)
- ・ 分散型会議支援環境 MEOW における OMT 手法の適用事例 吉田善幸, 服部易憲, 高田信一, 山本修一郎 (NTT)

○セッション B3 : 開発環境

- ・ UML 法におけるモデル整合性検証支援手法 大西 淳, 宇野 勝 (立命館大)
- ・ 「ドメインモデル≡計算モデル」を志向したアプリケーション開発環境 M-base における分析・設計技法 松本光由, 小西裕治, 中所武司 (明治大)
- ・ 制御構造とイベント送信を図示できる構造化オブジェクトモデリング環境 SOME 原田 実, 北本和弘, 岩田隆志 (青山学院大)

● [14 : 15 ~ 15 : 45] ワークショップと小パネル

○W1 : オブジェクト指向モデリングワークショップ (第2部: モデリング)

コーディネータ: 鯉坂恒夫 (和歌山大), 中谷多哉子 (東大)

○P1 : 管理と教育 (仮題)

パネラ : 未定

● [16 : 00 ~ 17 : 30] 全体パネル

- ・ ネットワーク時代とオブジェクト指向 (仮題) パネラ : 未定

●閉会の挨拶

未定

* プログラムは予定を含んでおります。変更の可能性もありますのでご了承ください。

行事 No. DiCoMo

「マルチメディア、分散、協調とモバイル(DiCoMo)ワークショップ」参加者募集

DiCoMo : Multimedia, Distributed, Cooperative and Mobile

『マルチメディア通信と分散処理』、『グループウェア』、『モバイルコンピューティング』の研究会では、インターネット、コンピュータ通信、マルチメディア情報通信、分散協調、CSCW、仮想環境、移動体ネットワークやエージェント等の種々の分野について活発な研究が行われています。これらの分野の中には、プロトコル、インターネット、エージェント、マルチメディア、セキュリティ等共通な課題も含まれています。そこで、これらの課題を中心にさまざまな意見交換を行いそれぞれの研究活動をより活発化するとともに、今後の研究の方向を探るための場として、3つの研究会が共同で合宿形式のワークショップを開催します。今回、非常に多くの論文発表の応募をいただき、その中から108件の優れた論文が選ばれました。北海道の大自然の雄大さに浸りながら、有意義なワークショップを過ごしていただこうと、通常のセッションに加えアウトドアセッションも企画しています。これらの分野に関心をお持ちの研究者、利用者の方々の幅広い参加をお待ちしています。

- 日 時** 平成9年7月2日(水) 14:00～21:30
 3日(木) 8:20～18:50 (懇親会 19:00～21:00 予定)
 4日(金) 8:20～12:50
- 会 場** ニセコいこいの村(ニセコ・積丹・小樽海岸国定公園ニセコアンヌプリ温泉)
 *参加申込みの方には後日詳細を送付。
- 参 加 費** 会員: 45,000 円, 研究会登録会員: 40,000 円, 学生: 30,000 円, 非会員: 50,000 円
 (いずれも論文集代, 宿泊費(2泊3日)を含む)
 *参加申込み後、やむを得ず参加を取り消される場合、6月13日(金)までお願いいたします。
 取り消しの連絡がない場合、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。
- 論文集のみ** ワークショップ終了後残部がありました場合のみ頒布いたします。
- 申込方法** 本号会告欄の行事申込書により Fax, e-mail または WWW でお申込みください。
- 申込締切** 平成9年6月2日(月)(定員140名になり次第締切)
- 申 込 先** (社)情報処理学会 ワークショップ係 〒108 東京都港区 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
 e-mail:sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534
<http://www.ipsj.or.jp/sympo/mgyoji.html>
- 照 会 先** 宗森 純 大阪大学大学院基礎工学研究科 e-mail:munemori@ics.es.osaka-u.ac.jp
 Tel(06)850-6598 (事務室 6597) Fax(06)850-6599 〒560 大阪府豊中市待兼山 1-3

プ ロ グ ラ ム**7月2日(水)**

● [14:10～15:50] セッション11A:ネットワーク管理

- (1) SNMPによるネットワーク不正アクセス検出エージェントの実現 中嶋卓雄, 緒方 彰, 中村良三(熊本大)
 (2) MIB エミュレータの設計と実装 小野智弘, 西山 智, 小花貞夫(KDD)
 (3) 統計的手法を用いた ISDN 時計同期システムにおける同期誤差の削減 山下高生, 小野 諭(NTT)
 (4) 拡張 RDBMS による木構造型データの管理法 小西史和, 小林伸幸, 西岡秀一, 鬼塚 真(NTT)

● [14:10～15:50] セッション11B:分散処理(1)

- (5) Real-Time Mach 上の連続メディアツールキット 中島達夫, 則武 淳, 大平浩貴(北陸先端大)
 (6) 通信量制御つき動的負荷分散 松井健一(東北大), 藤井章博(宮城大), 根元義章(東北大)
 (7) 分散協調にもとづく自律負荷分散方式の実装と評価 田中義幸, 小林真也(金沢大)
 (8) サービス形態の特性に基づく分散仮想環境向け通信方式 福岡久雄, 岡田忠義, 佐藤文明, 水野忠則(静岡大)

● [14:10～15:50] セッション11C:モバイルプロトコル

- (9) 間欠ツリーアルゴリズムを用いたマルチメディア無線多重アクセス通信の検討 上野 洋, 飯田 登, 渡辺 尚, 水野忠則(静岡大)
 (10) 放送型通信/オンデマンド型通信を統合した情報提供システム 箱守 聰, 田辺雅則, 石川裕治, 井上 潮(NTT データ)

) モバイル環境対応の高信頼マルチキャスト通信プロトコル

城下輝治, 佐野哲央, 高橋 修 (NTT), 山内長承 (日本 IBM)

) モバイル環境下における赤外線を用いた自律分散通信プロトコル

片桐秀樹, 河口信夫, 稲垣康善 (名大)

[16 : 10 ~ 17 : 50] セッション 12A : QOS

3) マルチメディアシステムの QoS ユーザインタフェース

上野義人 (創価大)

4) インターネット上での QOS 保証のためのコントロール機能の一検討

菅野政孝, 日下貴義, 木幡康弘, 松田栄之 (NTT データ), 白鳥則郎 (東北大)

5) RSVP を用いた帯域保証 IP トンネリングルータの検討・評価

伊藤嘉浩, 前島 治, 石倉雅巳, 浅見 徹 (KDD)

5) モバイル環境におけるマルチメディア情報を考慮したトラフィックマネジメント方式

宮本孝之, 勅使河原可海 (創価大)

[16 : 10 ~ 17 : 50] セッション 12B : 分散処理 (2)

7) 大規模分散システムにおける遅延を考慮した動的負荷分散方式

西村健治, 上野 仁, 山本 幹, 池田博昌 (阪大)

8) Information Dissemination using Network Streams

Harry Behrens, 田中英彦 (東大)

9) 通信網分散システムにおける複製管理機構

武本充治 (NTT)

0) 広域網における分散オブジェクト複製配置方式について

森 章文, 渡辺 尚 (静岡大)

[16 : 10 ~ 17 : 50] セッション 12C : ネットワークアーキテクチャとプロトコル

1) Hybrid Checkpointing Protocol for Reliable Mobile Computing

桧垣博章, 滝沢 誠 (東京電機大)

2) ユーザオリエンテッドなネットワークへ向けた DANSE サービスアーキテクチャの提案

板生知子 (NTT)

3) 相互接続試験系列の選択法に関する提案

岡崎直宣, 坪根宣宏, 妹尾尚一郎, 厚井裕司, 井手口哲夫 (三菱電機)

4) バス型ネットワーク上での LOTOS 記述実行系の評価

辰本比呂記, 後藤和裕 (阪大), 安本慶一 (滋賀大), 東野輝夫, 谷口健一 (阪大)

) [19 : 00 ~ 21 : 30] セッション 13A : インターネット (1)

5) TCP の振舞いをエミュレートするインターネット対応リンクモニタの設計

大岸智彦, 井戸上彰, 加藤聰彦, 鈴木健二 (KDD)

6) ルーティングアルゴリズムのスケラビリティに関する考察

棟朝雅晴, 高井昌彰, 佐藤義治 (北大)

7) 中国のインターネット利用者動向について

李 健, 飯島泰裕 (金沢大), Mang Qin (Imagination System), 錢 春林 (南京大)

8) メッセージカードサービスにおける利用者挙動の分析

坂本 啓, 新井克也, 西田晴彦 (NTT)

9) インターネット時代のコミュニケーションサービス

～インターネット TV ガイドでの BBS サービス事例から～

本橋 健, 坂本泰久 (NTT)

10) インターネットを利用した手形決済システムの一提案

三輪信介, 篠田陽一 (北陸先端大)

) [19 : 00 ~ 21 : 30] セッション 13B : 無線・移動体

31) 移動体通信のための階層的な位置管理方式におけるグループ構成手法

萩野浩明, 原 隆浩, 塚本昌彦, 西尾章治郎 (阪大)

32) 位置利用型行動支援プラットフォームの評価

鈴木勝彦, 空 一弘, 川嶋伸夫 (NTT)

33) マルチメディア非対称無線ネットワーク(AWL)システムの試作と評価

加藤紀康, 鎌形映二, 伊藤隆治, 芹澤 睦 (東芝)

34) モバイル環境における位置依存情報サービス基盤の検討

種茂文之, 寺西裕一, 梅本佳宏, 寺中勝美 (NTT)

35) 無線網における放送計画問題の複雑さとアルゴリズム

染谷克寿, 福羅充明, 松野浩嗣 (山口大)

36) 無線網における並行送信 TDMA 列計画問題とその解法

市村美佐子 (大島商船高専), 南 拓也, 松野浩嗣 (山口大)

) [19 : 00 ~ 21 : 30] セッション 13C : モバイルグループウェア

37) モバイル会議におけるユーザ支援システムの設計

太田 賢, 渡辺 尚, 水野忠則 (静岡大)

38) インターネットの使用を意識したモバイル・コンピューティング環境

藤巻貴宏, 重野 寛, 大森博雄, 岡田謙一, 松下 温 (慶大)

39) モバイル環境における協調作業支援機能の一考察

澤本 潤, 辻 秀一, 小泉寿男 (三菱電機)

40) 集まったその場での協同作業を支援するモバイルグループウェアシステム「なかよし」

倉島顕尚, 市村重博, 田頭 繁, 前野和俊, 武次将徳, 永田善紀 (NEC)

41) 複数媒体対応通信ミドルウェア (Mobile Conductor) の紹介

溝口陽一 (NTT)

(42) ワイヤレスカードによるパーソナル環境と位置情報マネージメント

大谷佳光, 山本英朗, 鈴木尚文, 一ノ瀬裕 (NTT)

7 月 3 日 (木)

● [8 : 20 ~ 10 : 00] セッション 21A : インターネット (2)

(43) WWW のアクセス履歴に基づく利用者の興味の自動推定方法

鷺崎誠司, 村本達也 (NTT)

(44) 弱インタラクティブなブラウジングシステムの開発

林 憲亨, 西田晴彦, 新井克也 (NTT)

(45) WWW を活用したソフトウェア開発支援方法

藤井 諭 (松江工業高専)

(46) クライアント監視方式による Web サービス効果測定

坂本泰久, 岸 晃司, 本橋 健, 小野雄二 (NTT)

● [8 : 20 ~ 10 : 00] セッション 21B : マルチメディア方式

(47) 複数網のインタワーキングにおけるマルチメディアサービス制御方式に関する検討

朴 美娘, 矢野雅嗣 (三菱電機)

(48) ビデオハイパーメディアにおけるシナリオ柔構造化 湯口 徹, 坂田哲夫, 平野泰宏, 池田哲夫, 星 隆司 (NTT)

(49) ATM ネットワークを利用した高効率三次元データ通信

長澤幹夫, 西岡大祐 (UNCL)

(50) 画像データベースのための Multiple Inverted Array 構造インデックス

谷口展郎, Katherine Curtis, 中川純一, 山室雅司 (NTT)

● [8 : 20 ~ 10 : 00] セッション 21C : モバイルと CSCW システム

(51) 実世界指向型端末 P DeJaVu を用いた物品探索システムの構築

清末悌之 (NTT)

(52) インターネット上での会合支援システムの使用評価

中西英之, 吉田 力, 西村俊和, 石田 亨 (京大)

(53) 協調作業向け複合文書ミドルウェアに基づくマルチメディアグループ学習ソフト

田淵仁浩 (NEC)

(54) 協同作業支援システム BrowserMAJIC のモバイル環境への適応

栗原主計, 田中俊介, 才野 真, 岡田謙一, 松下 温 (慶大)

● [10 : 20 ~ 12 : 00] セッション 22A : インターネット (3)

(55) 伝達された意思をその決定過程から検証できる情報環境の提案

吉田大治, 佐藤 究, 宮崎正俊 (東北大)

(56) 協調学習ナビゲーションシステム CoNAVI

及川利直, 佐藤宏之, 鈴木 実 (NTT), 堀川桂太郎 (NTT ソフト)

(57) コミュニケーションの普及: ハイパーアノテーション・システムの試行

宇山政志 (富士通研)

(58) インターネット上の協調知識収集システム LANDEBO の開発

村瀬一郎, 飯沼 聡, 佐藤明男, 三浦広毅 (三菱総研)

● [10 : 20 ~ 12 : 00] セッション 22B : マルチメディアシステム (1)

(59) ビデオハイパーメディア (VHM) の教育分野への応用ー遠隔マルチメディアテストへの応用ー

山本俊司, 池田哲夫, 坂田哲夫, 星 隆司, 柴垣 斉 (NTT)

永岡慶三, 中村知靖 (放送教育開発センター)

(60) 映像散策のためのビデオハイパーメディアー VHM 統合開発環境の評価ー

平野泰宏, 尾美誠司, 山口直人, 星 隆司 (NTT)

(61) ハイパーメディア・オン・デマンドシステムの構築

勝本道哲, 飯作俊一 (CRL)

(62) 画像検索のための高速データアクセスエンジン

中川純一, Katherine Curris, 谷口展郎, 山室雅司 (NTT)

● [10 : 20 ~ 12 : 00] セッション 22C : 仮想環境 (1)

(63) 「透明人間」システムにおける実空間を反映する仮想空間管理サーバの設計と実装

小川剛史, 柳沢 豊, 塚本昌彦, 西尾章治郎 (阪大)

(64) Virtual Workplace Literacy: 概念と課題

山上俊彦 (NTT)

(65) 3 次元仮想空間を利用した現実空間における活動の支援

箕浦大祐 (NTT)

(66) 即興演奏における協調作業を支援する音楽 CSCW システムの提案

西本一志 (ATR), 照井一由 (豊橋技科大), 角 康之, 間瀬健二 (ATR)

● [12 : 40 ~ 14 : 20] セッション 23A : エージェント (1)

(67) エージェント指向アーキテクチャを用いたやわらかいマルチメディア情報提供システムの研究

野村尚央, 柴田義孝 (東洋大), 白鳥則郎 (東北大)

(68) 市場モデルによるアプリケーション QoS の制御

八槨博史 (京大), Michael P. Wellman (ミシガン大), 石田 亨 (京大)

(69) 適応学習エージェントによるエンドユーザネットワーク

中沢 実 (金沢工大), 須田飛志 (アルファシステムズ), 阿部倫之, 服部進実 (金沢工大)

(70) 学芸員と見学者を仲介するエージェントによる博物館展示の個人化

門林理恵子, 西本一志, 角 康之, 間瀬健二 (ATR)

● [12 : 40 ~ 14 : 20] セッション 23B : マルチメディアシステム (2)

- 71) 位置情報を用いたコンタクト支援システム 坂内祐一, 高木常好, 小野太刀雄 (キヤノン)
 72) 遠隔授業支援システムの開発と検討 井上 穰, 由井蘭隆也 (鹿児島大), 宗森 純 (阪大), 長澤庸二 (鹿児島大)
 73) マルチメディア情報操作文章処理システムの提案 児玉英一郎, 樋地正浩, 佐藤 究, 宮崎正俊 (東北大)
 74) ネットワーク接続型マルチユーザ3次元映像創作システムの構築
 木原民雄 (NTT), 鈴木宣也 (IAMAS), 安斎利洋 (アーティスト), 大和田龍夫 (NTT/ICC)

● [12 : 40 ~ 14 : 20] セッション 23C : 仮想環境 (2)

- 75) 仮想オフィスにおける作業環境に関する一考察
 大澤隆治, 本田新九郎, 富岡展也, 木村尚亮, 岡田謙一, 松下 温 (慶大)
 76) Community Viewer: コミュニティ活動の可視化 西村俊和, 古村隆明, 八槇博史, 石田 亨 (京大)
 77) ネットワーク上における仮想協調学習環境-Virtual University-の構築 柳川建久 (北大)
 78) 仮想近接感システム OfficeWalker の試行評価 小幡明彦, 佐々木和雄 (富士通研)

○ [14 : 20 ~ 17 : 45] outdoor session

- [18 : 00 ~ 18 : 50] 招待講演: 分散・コラボレーション・モバイルの課題 松下 温 (慶大)
 月4日 (金)

● [8 : 20 ~ 10 : 00] セッション 31A : エージェント (2)

- 79) アクティブな個人情報の連携を実現する通信秘書システム
 武石英二, 篠原章夫, 城谷貴志, 寺本昌弘, 森原一郎 (NTT)
 80) エージェントによるモバイルオフィスグループウェア
 朝倉敬喜, 城島貴弘, 石黒義英, 喜田弘司, 垂水浩幸 (NEC)
 81) 遠隔協同授業におけるマルチエージェント協調作業支援方式
 太細 孝, 小泉寿男 (三菱電機), 横地 清 (前東海大), 守屋誠司 (山形大), 白鳥則郎 (東北大)
 82) マルチエージェントによる情報伝達方式 寺内 敦, 鈴木英明 (NTT)

● [8 : 20 ~ 10 : 00] セッション 31B : モバイルソフトウェア基礎

- 83) バッテリー資源予約のためのサーバとポリシー 西尾信彦 (慶大)
 84) オブジェクトコンポジションに基づく動的適応可能なソフトウェアの構成法

- 保木本見弘, 中島達夫 (北陸先端大)
 85) スクリプト言語によるカーネルレベルでの動的適応 追川修一 (CMU), 喜多山卓郎, 徳田英幸 (慶大)
 86) 移動体端末装置における通信インターフェイスの自動選択機能の実現

- 砂原秀樹, 比良木貴志 (奈良先端大), 植原啓介 (慶大), 尾家祐二 (奈良先端大)

● [8 : 20 ~ 10 : 00] セッション 31C : ワークフローと発想支援

- 87) WWW を用いたワークフロー型協調作業プロセスモデルの提案と検証 片岡信弘, 小泉寿男, 山田裕子 (三菱電機)
 88) 実世界ワークフロー管理システムの実現に関する研究 木村緒理恵, 敷田幹文, 國藤 進 (北陸先端大)
 89) 発想支援グループウェアを用いた分散協調型 KJ 法実施における作業過程の検討
 由井蘭隆也 (鹿児島大), 宗森 純 (阪大), 長澤庸二 (鹿児島大)
 90) マルチメディアインフォメーションサーバ MineS による学習環境上での学習者間コミュニケーション
 南野謙一 (東北大), 布川博士 (宮城教育大), 宮崎正俊 (東北大)

● [10 : 20 ~ 12 : 45] セッション 32A : エージェント (3)

- 91) 移動可能プログラムのための言語機構とその応用 渡部卓雄, 天野憲樹 (北陸先端大)
 92) Real-time Java Server の実装と評価 喜多山卓郎, 三好昭彦, 徳田英幸 (慶大)
 93) 移動エージェントによる交渉システムの設計 佐藤文明, 水野忠則 (静岡大)
 94) 協調エージェント間通信のための Tracking Agent の提案とその検討

- 國頭吾郎, 奥村恭弘, 相澤清晴, 羽鳥光俊 (東大)
 95) リソース制約とセキュリティを考慮した移動型エージェントサービスのモデル化について

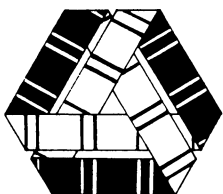
- 隆 朋也, 松下大輔, 渡辺 尚, 水野忠則 (静岡大)
 96) インターネット・サーファ－・エージェント・システム 松崎正敏 (通信・放送機構)

● [10 : 20 ~ 12 : 45] セッション 32B : セキュリティ

- 97) ネットワーククリプトゲート(NCG)の設計と実装 井上 淳, 石山政浩, 福本 淳, 津田悦幸, 岡本利夫 (東芝)
 98) RSA アクセラレータの高速化限界 小林芳直 (日本 IBM)
 99) 高速小型 RSA 暗号 LSI 佐藤 証, 小林芳直, 新島秀人, 曾根定道, 大庭信之, 宗藤誠治 (日本 IBM)
 100) モバイル計算環境におけるセキュリティシミュレータについて

- (101) モバイルエージェントの相互認証方法の提案 石川 陸, 田窪昭夫, 渡辺 尚, 水野忠則 (静岡大)
 (102) ネットワーク上の映像による識読下伝手法についての考察 山崎重一郎 (ISIT), 荒木啓二郎 (ISIT/九大)
 ● [10:20~12:45] セッション 32C: 協調モデル 村山優子 (広島市立大), 岡本栄司 (北陸先端大)
 (103) 分散視覚システムによる人間の行動認識 石黒 浩, 十河卓司, 石田 亨 (京大)
 (104) 協調コミュニケーション環境における発想・理解支援機能の実現について 斎藤 一 (北大)
 (105) 感性の差異を可視化するインタフェースに向けての一考察 杉山仁彦, 山本恭裕, 鈴木孝弘, 高田眞吾, 中小路久美代 (奈良先端大)
 (106) グループ外の人を対象にした組織内協調システム 松岡英俊 (富士通研)
 (107) インフォーマル情報の共有支援に向けて 愛川知宏 (NTT)
 (108) 複数視点データ構造の実現によるユーザの意図明示化に関する研究 鈴木孝弘, 山本恭裕, 杉山仁彦, 高田眞吾, 中小路久美代 (奈良先端大)

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です (*: 本年既掲載分, ** : 昨年既掲載分)。会議の詳細を知りたい方は、学会国際係へ切手 90 円を同封のうえ、請求ください。(国内連絡先が記載されている場合は除く。) ○: 本会主催・共催 ◆: 本会協賛

1. 開催日 2. 会場 3. 照会先 4. その他

【国際会議】

◆ Computer Graphics Osaka97/Network k/Kansai 97(7015)

1. 1997 年 6 月 18 日 (水) ~ 20 日 (金) 2. マイドームおおさか他 3. (社) 日本能率協会 Tel(06)261-7151

8th World Conference on Artificial Intelligence in Education - Knowledge and Media in Learning Systems -(AI-ED 97)(7013)

1. 1997 年 8 月 18 日 (月) ~ 22 日 (金) 2. 神戸国際会議場 (神戸市中央区)
 3. <http://www.fu.is.saga-u.ac.jp/aied/index.html>

International Conference on Information Infrastructure Development in Asia/Pacific(IIDAP)(7012)

1. 1997 年 9 月 16 日 (火) ~ 18 日 (木) 2. 国立オリンピック記念青少年総合センター (都内渋谷区)
 3. 組織委員会: 竹内比呂也 (静岡県立大短期大学部) Tel(053)457-4522 e-mail: takeutir@sizcoll.u-shizuoka-ken.ac.jp

Neural Information Processing Systems - Natural and Synthetic (NIPS '97)(7016)

1. 1997 年 12 月 1 日 (日) ~ 6 日 (土) 2. デンバー, 米国 3. 銅谷 (科学技術振興財団) Tel(0774)95-1210
 e-mail: doya@erato.atr.co.jp <http://www.cs.cmu.edu/Web/Groups/NIPS>

8th Workshop on Genome Informatics(7011)

1. 1997 年 12 月 12 日 (金) ~ 13 日 (土) 2. Ebisu Garden Hall (東京都目黒区) 3. 宮野 (東大) Tel(03)5449-5615
 Fax(03)5449-5434 e-mail: miyano@ims.u-tokyo.ac.jp <http://www.hgc.ims.u-tokyo.ac.jp/giw97>

◆ 12th World Congress of Applied Linguistics(AILA'99 Tokyo)(7014)

1. 1999 年 8 月 1 日 (日) ~ 6 日 (金) 2. 早大 (都内新宿区) 3. 小池 ((株) サイマルインターナショナル内)
 Tel(03)3586-8691

【国内会議】

◆ シンポジウム「ビデオメディアに見るビッグメディア開発の歴史」

1. 平成 9 年 6 月 5 日 (木) 2. 機械振興会館 (都内港区) 3. (社) 映像情報メディア学会 Tel(03)3432-4677
 e-mail: ite@ite.or.jp

◆ 教育セミナー「メカトロニクス技術の基礎」

1. 平成 9 年 6 月 19 日 (木) ~ 20 日 (金) 2. 科学技術館 (都内千代田区) 3. (社) 精密工学会 Tel(03)3362-1979

重点領域研究(知能システム・創発システム・人工現実感)合同シンポジウム

1. 平成 9 年 6 月 25 日 (水) 2. 兵庫県民会館 (神戸市) 3. 重点「人工現実感」事務局 (東大計数工学専攻 館研究室)
 Tel(03)3812-2111(ext.6915) Fax(03)5689-7201

◆ 第 9 回知能ロボットコンテスト JAPAN '97

1. 平成 9 年 6 月 28 日 (土) ~ 29 日 (日) 2. 仙台市科学館 (仙台市青葉区) 3. 実行委員会 菊池 Tel(022)217-7025 e-mail: robocon@robotics.is.tohoku.ac.jp <http://www.robotics.is.tohoku.ac.jp/robocon/index-j.html>

◆ 第 15 回設計シンポジウム

1. 平成 9 年 7 月 10 日 (木) ~ 11 日 (金) 2. 東大山上会館 (都内文京区) 3. 村上存 (東大)
 Tel(03)3812-2111(ext.6327) e-mail: murakami@mech.t.u-tokyo.ac.jp

「DA シンポジウム '97」参加者募集

設計自動化 (DA) 技術は、コンピュータ、VLSI など電子装置の進歩を支える重要技術のひとつとして、多くの成果を生み出してきましたが、近年の電子装置の大規模・高性能化の進展もまた急であり、技術革新のニーズも大きく変容しつつある中で、更なるブレークスルーが求められています。

本シンポジウムではこうした DA の最新の技術発表と技術動向の討論を目的としたもので、下記要領で開催いたします。参加ご希望の方は、期日までに必要事項を申込書に記入のうえ、お申込みください。

日 時 平成 9 年 7 月 10 日 (木) 13 : 00 ~ 18 : 00 (受付開始 : 11 : 45 ~ , 懇親会 19 : 00 ~)
11 日 (金) 8 : 30 ~ 18 : 30 (イブニング談話会 : 20 : 00 ~ 22 : 00)
12 日 (土) 8 : 55 ~ 12 : 10

会 場 ラフォーレ琵琶湖 (滋賀県守山市今浜町十軒家 2876) * 参加申込の方には詳細を後日送付。

主 催 情報処理学会 設計自動化研究会

参 加 費 会員 : 44,000 円, 研究会登録会員 : 39,000 円, 学生 : 25,000 円, 非会員 : 49,000 円
(いずれも論文集代, 宿泊費 (2 日目昼食込), 懇親会費, 消費税込)

論文集のみ 5,000 円 (送料込)

申込方法 本号会告欄の行事申込書により郵送, Fax, e-mail, または WWW によりお申込みください。

申込締切 平成 9 年 6 月 16 日 (月)

申込/照会先 (社) 情報処理学会 シンポジウム係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
e-mail:sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534
<http://www.ipsj.or.jp/sympo/mgyoji.html>

* 参加申込後、やむを得ず参加を取り消される場合は、6 月 24 日 (火) までにお願いします。取り消しの連絡のない場合は、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。

* 宿泊は原則として 2 ~ 4 人部屋となります。1 人部屋希望の方は 10,400 円 (2 泊分) の追加料金で申し受けますので、申込書「通信欄」にその旨ご記入ください。

プ ロ グ ラ ム

◆特別企画

- ◇招待講演 (7 月 10 日 (木) 13 : 15 ~ 14 : 30 セッション A-1)
"マルチメディアに向けた LSI の高速化・低消費電力化技術" 榎本忠儀 (中央大)
- ◇設計事例特別講演 (7 月 10 日 (木) 16 : 40 ~ 18 : 00 セッション A-3)
"DRAM/ロジック混載 LSI の設計事例 - PPRAM およびその他の事例紹介 -" 村上和彰 (九大)
"画像圧縮イメージセンサーセンサまで含めたシステムオンチップの実例として -" 川人祥二 (豊橋技科大)
- ◇パネル討論 (7 月 11 日 (金) 16 : 30 ~ 18 : 30 セッション A-8)
"システムオンシリコン時代の技術課題" モデレータ : 今井正治 (阪大)
- ◇特別講演 (7 月 12 日 (土) 11 : 00 ~ 12 : 00 セッション A-11)
"2002 年の ASIC 設計のための EDA 技術ロードマップ" (仮題) 古井芳春 (ソニー)

7 月 10 日 (木)

〇 [13 : 00 ~ 13 : 15] 開会の挨拶

■ [13 : 15 ~ 14 : 30] セッション A-1 : 招待講演<会場 A >

・マルチメディアに向けた LSI の高速化・低消費電力化技術 榎本忠儀 (中央大)

■ [14 : 50 ~ 16 : 30] セッション A-2 : 設計事例<会場 A >

・ベクトル量子化用機能メモリ型並列プロセッサ FMPP-VQ64 の設計

小林和淑, 中村典嗣, 山岡雅直, 小野寺秀俊, 田丸啓吉 (京大)

・通信処理用プロセッサ

石井健司, 稲森 稔, 筒井章博, 白川千洋, 宮崎敏明 (NTT)

・商用ツールを利用した LSI 設計用ライブラリ開発

塩見謙太郎, 沖野晃一, 安浦寛人 (九大), 川崎隆志, 佐藤政生 (早大)

・画像圧縮/伸長システム開発における H/W ・ S/W のコシミュレーションとラビッドプロトタイピング

楠原崇史, 木村廣隆, 清尾克彦 (三菱電機)

● [14 : 50 ~ 16 : 30] セッション B-2 : テスト<会場 B>

・極小テストパターン生成の高速化手法について

梶原誠司 (九工大)

・バストランジスタ論理 SPL における stuck-on 故障のテスト生成法

篠木 剛, 林 照峯 (三重大), 瀧 和男 (神戸大)

・RT レベルテスト容易性評価に基づく DFT の一手法

桜井涼二, 高橋瑞樹, 藤本徹哉, 神戸尚志 (シャープ)

・高故障検出率を保証するパーシャルスキャン設計方法

細川利典, 平岡敏洋, 太田光保, 村岡道明 (松下電器)

● [16 : 40 ~ 18 : 00] セッション A-3 : 設計事例特別講演<会場 A>

・DRAM/ロジック混載 LSI の設計事例ー PPRAM およびその他の事例紹介ー

村上和彰 (九大)

・画像圧縮イメージセンサーセンサまで含めたシステムオンチップの実例としてー

川人祥二 (豊橋技科大)

○ [19 : 00 ~] 懇親会

7 月 11 日 (金)

● [8 : 30 ~ 10 : 10] セッション A-4 : システム検証<会場 A>

・PEAS-III におけるシミュレーションモデルの自動生成

小崎 展, 塩見彰睦 (静岡大), 今井正治 (阪大)

・画像 DSP 開発に用いた高速 VLSI 用上流設計環境

近藤芳人, 芳川 洋, 大木光晴, 岩田英次, 山崎孝雄, 岩瀬清一郎 (ソニー)

・プロセッサアーキテクチャの動作モデルの提案とその評価

高井裕司, 小川 一, 水野雅信, 村岡道明 (松下電器)

・形式的伝送処理仕様記述とシミュレーションの実現

樋口一茂, 白川千洋 (NTT)

● [8 : 30 ~ 10 : 10] セッション B-4 : 低消費電力<会場 B>

・多電源を用いた低消費電力化設計手法

五十嵐睦典, 宇佐美公良, 野上一孝, 南 文裕, 川崎幸雄, 青木孝哲

高野みどり, 水野千春, 石川貴史, 金沢正博, 市田真琴, 園田慎次, 畑中直行 (東芝)

・入力端子接続最適化による消費電力削減手法

橋本昌宜, 小野寺秀俊, 田丸啓吉 (京大)

・トランザクション法を利用した組合せ回路の低消費電力設計について

古賀一博, 澤田 直, 安浦寛人 (九大)

・通信処理 LSI 向け消費電力予測法の検討

鳥山朋二, 三浦則宏, 二階堂忠信 (NTT)

● [10 : 40 ~ 11 : 55] セッション A-5 : 設計検証<会場 A>

・FPGA に対応する論理診断手法

沼 昌宏 (神戸大), 鈴鹿拓也 (三洋電機), 梅砧 浩, 平野浩太郎 (神戸大)

・トレース理論による Speed-Independent 回路の形式的検証

山根 智, 中村一博, 高橋健一 (島根大)

・Kleene TDD の論理シミュレーションへの応用について

井口幸洋 (明治大), 笹尾 勤, 松浦宗寛 (九工大)

● [10 : 40 ~ 11 : 55] セッション B-5 : バストランジスタ論理<会場 B>

・BDD 分割を用いたバス・トランジスタ論理の合成

高田賢吾 (神戸大), 井上真一 (川崎製鉄), 沼 昌宏, 瀧 和男, 平野浩太郎 (神戸大)

・FBDD ノード数最小化のためのヒューリスティックアルゴリズムとバストランジスタロジックへの応用について

橋 昌良 (東芝)

・バストランジスタ論理に関する動向調査報告

瀧 和男 (神戸大)

● [13 : 00 ~ 14 : 15] セッション A-6 : ハイレベル合成<会場 A>

・数式レベルでのデータフローグラフの構造変形の効率化

鵜飼昌樹, モシニヤガ ワシリー, 田丸啓吉 (京大)

・特定用途向き集積化プロセッサのレジスタ数最適化アルゴリズムとその評価

本間啓道 (豊橋技科大), 今井正治, 武内良典 (阪大)

・デジタル信号処理を対象とした高位合成システムにおける高速なスケジューリングアルゴリズム

戸川 望, 佐藤政生, 大附辰夫 (早大)

● [13 : 00 ~ 14 : 15] セッション B-6 : 遅延最適化<会場 B>

・レイアウト設計におけるバッファ挿入・ゲートサイズ同時最適化の一手法

岡本 匠 (NEC)

・FPGA の静的遅延計算方法

片山 勝, 高原 厚, 宮崎敏明, 深見健之助 (NTT)

・Laplace 領域の解析的解法による高速高精度ゲートディレイ計算方法

河野一郎, 加藤直樹 (日立)

● [14 : 20 ~ 16 : 00] セッション A-7 : システム設計 I <会場 A>

・FPGA 回路割り付けの一手法

本庄 浩, 富田常雄, 藤本徹哉, 神戸尚志 (シャープ)

・RTL 設計における性能トレードオフ推定方法

岩崎知恵, 川口謙一, 水野雅信, 村岡道明 (松下電器)

・機能部品作成のためのハードウェア記述改造支援

一ノ瀬茂, 野村雅也, 岩井原瑞穂, 安浦寛人 (九大)

・オブジェクト指向 HDL のための FPGA アーキテクチャ

永見康一, 塩澤恒道, 伊藤秀之, 小栗 清 (NTT), 中村行宏 (京大)

■ [14 : 20 ~ 16 : 00] セッション B-7 : レイアウト<会場 B>

・ VLSI ビルディングブロック方式に対するタイミング制約を考慮した端子割当て概略配線同時決定手法

小出哲士, 若林真一 (広島大)

・ 2 次元トランジスタ配置構造をもつ CMOS セルの生成システム

柴谷 聡, 山岡裕泰, 中尾博臣, 寺井正幸 (三菱電機)

・ 遺伝的アルゴリズムの電子部品配置問題への適用と評価

宮本敦史, 塩山 治, 山本雅文, 寺井秀一 (立命館大)

・ 並列化自動配線処理におけるプロセッサ割り当て方式

坂上智成, 吉川雅弥, 寺井秀一 (立命館大)

■ [16 : 30 ~ 18 : 30] セッション A-8 : パネル討論<会場 A>

・ システムオンシリコン時代の技術課題

モデレータ : 今井正治 (阪大)

○ [20 : 00 ~ 22 : 00] イブニング談話会

月 12 日 (土)

■ [8 : 55 ~ 10 : 35] セッション A-9 : システム設計 II <会場 A>

・ フレキシブル・ハードウェア・モデルの FIR フィルタ設計への応用

久保善道, 武内良典, 森藤孝文 (阪大), 佐藤 淳 (鶴岡高専), 今井正治 (阪大)

・ ASIP におけるインストラクションセットの最適設計法

吉田 武, 山田正一郎 (大阪市立大)

・ 特定用途向け集積システム設計における性能の見積もり手法

井上昭彦, 富山宏之, エコーファジャル, 大隈孝憲, 安浦寛人 (九大)

・ 特定用途向け集積システムにおけるプロセッサの命令語長の最適化手法

大隈孝憲, 富山宏之, 井上昭彦, エコーファジャル, 安浦寛人 (九大)

■ [8 : 30 ~ 9 : 45] セッション B-9 : 論理合成<会場 B>

・ インクリメンタル論理合成システムの開発

林 信幸, 旦代三弥子, 榎 博基 (日立), 松本一朗 (日立 IT), 松本和彦, 新舍隆夫 (日立)

・ 遺伝的アルゴリズムによる多段論理回路合成

笠井卓哉, 大森健児, 大塚喜彦 (法政大)

・ 初期回路の入力変数への依存性に着目した論理関数分解

塩澤恒道, 永見康一, 伊藤秀之, 小栗 清 (NTT), 中村行宏 (京大)

■ [9 : 45 ~ 10 : 35] セッション B-10 : 設計システム<会場 B>

・ ASIC 向けマスクデータ作成システム

本吉 稔, 堤田光起 (日立), 桂川静雄, 上矢 誠 (三倉エンジニアリング), 鈴木俊夫 (日立)

・ ライブラリ設計 CAD システム ~ OLiVe ~ の開発

山本純一, 泉 正夫 (沖電気)

■ [11 : 00 ~ 12 : 00] セッション A11 : 特別講演<会場 A>

・ 2002 年の ASIC 設計のための EDA 技術ロードマップ (仮題)

古井芳春 (ソニー)

○ [12 : 00 ~ 12 : 10] 閉会の挨拶

国内会議】 つづき

▶ セミナー「物理学 21 世紀へ向けて」

1. 平成 9 年 7 月 19 日 (土) ~ 21 日 (月) 2. 学習院大 (都内豊島区) 3. (社) 日本物理学会 Tel(03)3434-2671

▶ Optics Japan' 97

1. 平成 9 年 9 月 30 日 (火) ~ 10 月 1 日 (水) 2. 東北工大 (仙台市太白区) 3. 伊藤弘昌 (東北大) Tel(022)217-5518
e-mail:hiromasa@riec.tohoku.ac.jp

▶ カラーフォーラム JAPAN '97

1. 平成 9 年 11 月 11 日 (火) ~ 13 日 (木) 2. 工学院大 (都内新宿区) 3. 事務局 Tel(03)3433-2543
e-mail:ren.associates@jsn.justnet.or.jp

▶ 第 6 回ポリマー材料フォーラム

1. 平成 9 年 11 月 27 日 (木) ~ 28 日 (金) 2. 千里ライフサイエンスセンター (豊中市) 3. (社) 高分子学会
Tel(03)3543-3771

▶ 第 18 回バイオメカニズム学術講演会

1. 平成 9 年 11 月 29 日 (土) ~ 30 日 (日) 2. アマダフォーラム 246 (伊勢原市) 3. 事務局 Tel(0462)49-2594
e-mail:NAH04120@niftyserve.or.jp

▶ 第 3 回 知能情報メディアシンポジウム ポスト・マルチメディアの研究パラダイムを求めて

1. 平成 9 年 12 月 9 日 (火) ~ 10 日 (水) 2. 慶大三田 (都内港区) 3. 事務局 (東京商船大 交通電子制御工学講座 内)
Tel(03)5245-7444 http://www.ieice.or.jp/euc/iss/iim/sympo.html

「グラフィクスとCAD シンポジウム」参加者募集 (VisualComputing'97 と合同開催)

日 時 平成9年6月4日(水) 9:10~17:30 (懇親会 17:40~)・5日(木) 9:10~18:10
 会 場 早稲田大学 国際会議場 (東京都新宿区西早稲田 1-20-17. Tel(03)3203-4141(代))
 主 催 情報処理学会 グラフィクスとCAD 研究会, 画像電子学会 Visual Computing 研究委員会
 参 加 費 会員: 8,000 円, 研究会登録会員: 6,000 円, 非会員: 10,000 円, 学生: 3,000 円
 申込方法 当日会場で受け付けます (参加費は現金払い)。*事前申込については下記照会先にお問い合わせください。
 照 会 先 画像電子学会 e-mail:iieej@ma.kcom.or.jp Tel(03)5403-7571 Fax(03)5403-7572

プ ロ グ ラ ム

6月4日(水)

- [9:10~9:20] 開会挨拶 青野雅樹 (日本 IBM)
- [9:20~10:30] セッション1: 曲面操作 座長: 安生健一 (日立)
 - ・パラメータ空間への楕円最密充填による自動曲面メッシング手法 山田 敦, 井上恵介, 伊藤貴之, 古畑智武 (日本 IBM)
 - ・制御線群にもとづく3次元形状変形とその応用 金井 崇 (東大), 土岐健一 (住友金属), 橋本善久 (セガ)
 - 鈴木宏正 (東大), 寺沢幹雄 (日大), 木村文彦 (東大)
- [10:50~12:00] セッション2: 可視化 座長: 茅 暁陽 (山梨大)
 - ・4面体分割を用いた渦の可視化-改良法とその有効性- 鈴木聡史, 土井章男 (岩手大), 小山田耕二 (日本 IBM), 三中西信治 (アーレスティ研究所)
 - ・生命科学とビジュアライゼーション: リソソーム病の病態解明と臨床への応用 立野玲子 (臨床研), 藤代一成 (お茶の水女子大), 伊藤孝司, 桜庭 均 (臨床研)
- [13:30~14:40] セッション3: VR 座長: 間瀬健二 (ATR)
 - ・ViSurf: 3次元触・力覚呈示デバイスによる面の直接モデリング環境 山下樹里, 福井幸男 (生命工学研), 蔡 奕 (新技術事業団)
 - ・人工生命のリアルタイム・アニメーション 栗原恒弥 (日立)
- [15:00~16:00] 特別講演 司会: 高橋時市郎 (NTT)
 - ・VRML2.0による生態系の構築 出淵亮一朗 (atomco.,Ltd./artist)
- [16:20~17:30] セッション4: 幾何モデル 座長: 西田友是 (福山大)
 - ・空間占有検出と立体干渉のロバストな解法 穂坂 衛 (東京電機大)
 - ・3次元データへの情報の埋め込み 大淵竜太郎, 青野雅樹, 増田 宏 (日本 IBM)

6月5日(木)

- [9:10~10:55] セッション5: レンダリングシステム 座長: 渡辺範人 (日立)
 - ・順・逆両問題アプローチを統合したインタラクティブ照明設計システムの開発 土橋宜典 (広島市立大), 中谷秀貴 (富士通), 金田和文, 山下英生 (広島大)
 - ・フラクタルを利用したシーンの自動簡略化手法 井上正行, 小池英樹 (電通大)
 - ・雲画像からのメタボールによる3次元雲の生成およびアニメーション手法 土橋宜典 (広島市立大), 西田友是 (福山大), 山下英生 (広島大)
- [11:10~12:20] セッション6: 曲面生成 座長: 斉藤 剛 (東京電機大)
 - ・エネルギー最小ポリゴン曲面の拡散システムによる生成法 栗山 繁, 橋啓八郎 (広島市立大)
 - ・ β プレンディング関数を用いた接平面の連続性を保証したn辺形パッチの内挿 足立雅史 (会津大), 三浦憲二郎 (静岡大)
- [13:20~14:30] 特別セッション 座長: 鳥脇純一郎 (名大)
 - ・TourIntothePicture: 一枚の画像に基づくアニメーション生成技術 [SIGGRAPH'97 採録論文] 安生健一, 堀井洋一, 新井清志 (日立)
 - ・視覚特性を考慮したダイナミックレンジの圧縮 [EUROGRAPHICS'97 採録論文] 田中敏光 (名大), 佐橋伸行 (愛知機械), 大西 昇 (名大), 杉江 昇 (名城大)
- [14:45~15:55] セッション7: 曲面解析 座長: 斎藤隆文 (NTT)
 - ・四元数積分曲線 (QuaternionIntegralCurve) 三浦憲二郎 (静岡大)
 - ・曲面稜線による意匠形状の解析と特徴表示 渡辺由美子, 斎藤 剛 (東京電機大), 東 正毅 (豊田工大)
- [16:15~18:00] セッション8: 画像生成 座長: 近藤邦雄 (埼玉大)
 - ・水溶性色えんぴつ画の3Dモデリング-紙の微細構造を反映した顔料付着操作- 高木佐恵子, 藤代一成 (お茶の水女子大)
 - ・CalibratedComputerGraphicsによる画像合成の試み-カメラキャリブレーションに基づく任意フォーカス画像の生成と検証- 馬場雅志, 浅田尚紀, 天野 晃 (広島市立大)
 - ・GAを用いた類似シームレステクスチャ生成方法 山田辰美, 橋本秋彦, 下原勝憲 (NTT)
- [18:00~18:10] 閉会挨拶 鳥脇純一郎 (名大)

「コンピュータ音楽チュートリアル」参加者募集

－夏のシンポジウム 1997 (SS97) 併設チュートリアル－

コンピュータ音楽に興味はあるのだけれど最初の一步が踏み出せない、という方のためにコンピュータ音楽というもの、いろいろな面から知っていただく入門編シリーズ第一弾として、夏のシンポジウム：SS '97（通常の研究発表会形式）に先立つ併設チュートリアルを以下のとおり企画しました。皆様の奮っての参加をお待ちしております。

■夏のシンポジウム全体概要

時 平成9年7月19日（土）13：00～18：00 併設チュートリアル第1部 ＊下記参照
 20日（日）10：00～12：00 併設チュートリアル第2部 ＊下記参照
 13：30～15：30 通常研究発表会 研究発表 ※
 15：30～17：30 通常研究発表会 ワークショップ ※
 17：30～ 懇親会
 21日（月）9：00～15：00 通常研究発表会 研究発表 ※

※詳細は次号（6月号）本欄に掲載されますのでご参照ください。

場 京都府立ゼミナールハウス（京都府京北町）

催 情報処理学会 音楽情報科学研究会

加申込方法 下記ホームページ掲載の参加申込書を送付いただくか、または下記照会先にご請求ください。

本研究会ホームページ <http://www.hamamatsu-pc.ac.jp:80/SIGMUS>

込先 松島俊明（東邦大） e-mail:ss97@sun605.is.sci.toho-u.ac.jp Fax(0474)74-6821

会先 ◇チュートリアル：平田圭二（NTT） e-mail:hirata@nefertiti.brl.ntt.co.jp Fax(0462)40-4721

◇研究発表会：中村滋延（京都芸術短大） e-mail:nakmra50@mbox.kyoto-inet.or.jp Fax(0726)81-4905

加申込締切 平成9年7月1日（火）

宿泊、食事等に関する申込みは6月9日（月）までに、上記申込先にお申込みください。

チュートリアルと研究発表会のどちらか一方だけ参加することも大歓迎です。

■併設チュートリアル詳細

チュートリアル第1部 平成9年7月19日（土）13：00～18：00

「MIDIの活用とMIDIのプログラミング」 講師：長嶋洋一（Art & Science Laboratory(ASL)）

概要：・MIDIとは ・MIDI規格とSMF規格とGM規格 ・MAXによるMIDIプログラミング

・PCでのMIDIプログラミング ・Unix上のMIDIプログラミング

・MIDIとリアルタイム Computer Music

いまやコンピュータ音楽を実践する上で基本中の基本とも言えるMIDIの使い方について初歩から丁寧に解説していきます。そして世界中のアマチュアからプロの間で最もポピュラーに使われているMIDIプログラミングシステムであるMAXについてのプログラミング実習を行います。さらに時間が許す限り、PCやUnix上でのMIDIプログラミングについても解説します。また、参加者の中でMacを持参された方に、MAXを一時的に体験していただく事も検討しております。

チュートリアル第2部 平成9年7月20日（日）10：00～12：00

「“コンピュータ音楽の歴史”入門」 講師：上原和夫（大阪芸術大）

概要：・コンピュータ音楽の誕生 ・コンピュータ音楽の発展 ・世界のコンピュータ音楽スタジオ

・コンピュータ音楽の様々なイベント ・20世紀音楽との関わり ・コンピュータ音楽の多様性（現況紹介）

さまざまな作品を鑑賞しながら歴史をたどり、映像資料なども用いて、本チュートリアルでしか見聞できないような貴重な各国のスタジオ活動やこの分野におけるイベントの紹介も行います。またパフォーマンス、マルチメディア等の多様な関わりについても考察できればと考えています。入門者向けの分かりやすい内容を心がけます。

情報処理学会第 55 回全国大会（平成 9 年後期） 宿泊・航空券のご案内

日 程 平成 9 年 9 月 24 日（水）～9 月 26 日（金）
会 場 福岡工業大学（福岡市東区和白東）

本会では、近畿日本ツーリスト（株）に委託して、学会に参加される方々に宿泊ならびに航空券を特別料金にて提供することといたしました。お早めにご予約されますようにご案内申し上げます。

情報処理学会第 55 回全国大会
現地実行委員会

1. 宿泊（平成 9 年 9 月 23 日（火）～9 月 26 日（金）宿泊分）

記号	ホ テ ル 名	金 額	最 寄 り 駅から
イ	シーホークホテルアンドリゾート	13, 500 円	地下鉄唐人町駅より徒歩 15 分 (会場までは多少不便です)
ロ	博多都ホテル	12, 500 円	JR 博多駅より徒歩 2 分
ハ	ホテルステーションプラザ	10, 000 円	JR 博多駅より徒歩 2 分
ニ	キャナルシティ福岡ワシントンホテル	9, 500 円	JR 博多駅より徒歩 10 分 (ただいま福岡では、人気のスポットです。)
ホ	三井アーバンホテル福岡	8, 800 円	JR 博多駅より徒歩 6 分
ヘ	チサンホテル博多	8, 500 円	JR 博多駅より徒歩 5 分
ト	東洋ホテル	8, 200 円	JR 博多駅より徒歩 5 分
チ	ホテル法華クラブ福岡	8, 200 円	JR 博多駅より徒歩 7 分
リ	サンライフホテル 2. 3	8, 000 円	JR 博多駅より徒歩 2 分
ヌ	博多グリーンホテル	7, 200 円	JR 博多駅より徒歩 2 分
ル	冷泉閣ホテル駅前店	7, 200 円	JR 博多駅より徒歩 5 分

- (1) (1 泊朝食サービス料込・税別)
 (2) 上記金額は 1 人 1 室シングルルームです。ツインルームについてはご相談下さい。
 (3) サンライフホテル、博多グリーンホテルは税金も込みです。

2. 航空券

下記便につきましては、特別料金を適用させていただきます。

記 号	搭乗日	出発時間帯	区 間	7 / 20 まで予約	7 / 21 以降予約
SP - 1	9 / 23	10 : 00 ~ 12 : 00	札幌～福岡	20,000 円	23,000 円
SD - 1	9 / 23	16 : 00 ~ 18 : 00	仙台～福岡	22,900 円	24,500 円
T - 1	9 / 24	8 : 00 ~ 10 : 00	東京～福岡	14,000 円	16,000 円
T - 2	9 / 23	12 : 00 ~ 14 : 00	東京～福岡	14,000 円	16,000 円
T - 3	9 / 23	16 : 00 ~ 18 : 00	東京～福岡	14,000 円	16,000 円
N - 1	9 / 23	16 : 00 ~ 18 : 00	名古屋～福岡	14,000 円	11,500 円
O - 1	9 / 24	7 : 40 ~ 8 : 30	大阪～福岡	8,500 円	10,200 円
O - 2	9 / 23	17 : 00 ~ 20 : 30	大阪～福岡	8,500 円	10,200 円
SP - 2	9 / 26 ~ 9 / 27	9 : 00 ~ 12 : 00	福岡～札幌	20,000 円	23,000 円
SP - 2	9 / 26 ~ 9 / 27	14 : 00 ~ 18 : 00	福岡～仙台	22,900 円	24,500 円
T - 4	9 / 27	8 : 30 ~ 10 : 00	福岡～東京	14,000 円	16,000 円
T - 5	9 / 26 ~ 9 / 27	12 : 00 ~ 14 : 00	福岡～東京	14,000 円	16,000 円
T - 6	9 / 26	19 : 00 ~ 20 : 30	福岡～東京	14,000 円	16,000 円
N - 2	9 / 26	17 : 00 ~ 19 : 00	福岡～名古屋	10,000 円	11,500 円
O - 3	9 / 26	19 : 00 ~ 20 : 00	福岡～大阪	8,500 円	10,200 円
O - 4	9 / 27	9 : 00 ~ 11 : 00	福岡～大阪	8,500 円	10,200 円

- 1) 上記運賃は、15 名様以上のお申込がない場合は時間帯の変更または、料金が通常料金になる場合があります。
- 2) 上記以外の区間についてもご相談ください。

3. お申込方法

- (1) 所定の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込ください。
- (2) お申込いただきましたら、申込締切日以降に予約確認書を送付します。
その際に費用合計をお知らせしますので、請求書の指定する口座にお振込ください。その際の送金手数料はお申込者のご負担をお願いします。
なお、送金時には氏名の後に請求書番号をお手数をお掛け致しますがご記入ください。
- (3) お申込み、お問合せ先および送金先
(株) ツーリストサービス九州 (担当: 村上, 丸山)
〒810 福岡市中央区赤坂 1-15-33 ダイア福岡赤坂ビル 7 階
Tel(092)733-0641 Fax(092)781-1631
- (4) 連絡通信費及び旅行取扱料金として、お一人様 300 円申し受けます。

4. 取消・変更についてのご案内

お申込後、お客様のご都合で予約を変更、取消される場合は、1 名様につき下記の変更・取消料をいただきます。

- (1) 取消・変更手数料 1 回につき 500 円
- (2) 取消料金
 - A. 出発日から起算して 16 日前まで (宿泊・航空券とも)・・・無料
 - B. 出発日から起算して 15 日以降

* 宿泊 (1 名様 1 件につき)

15 日前～7 日前まで	6 日前～前前日まで	前 日	当 日
無 料	20 %	40 %	100 %

* 航空券 (1 名様 1 件につき)

区 間	出発日の 13 日前～4 日前	出発日の 3 日前以降
札幌ー福岡 間	4,000 円	8,000 円
仙台ー福岡 間	4,000 円	8,000 円
東京ー福岡 間	3,000 円	6,000 円
名古屋ー福岡 間	2,000 円	4,000 円
大阪ー福岡 間	2,000 円	4,000 円

* 上記区間以外については航空会社所定の取消料金となります。

5. 最終申込締切日 平成 9 年 9 月 5 日 (金)

締切日以降は、状況判断しながらご相談させていただきます。

情報処理学会第 55 回全国大会（平成 9 年後期）

宿泊・航空券申込書

代表者氏名		所属名
送付先住所		
連絡先	TEL	FAX

宿泊申込書

(1)は第一希望，(2)は第二希望です

	名　　ふりがな	性　　別	希望ホテル	宿　泊　月　日（宿泊日数）
例	きんき　たろう 近畿　　太郎	♂・女	(1)　ハ (2)　ニ	9月23日～9月25日（3　泊）
		男・女	(1) (2)	月　　日～　月　　日（　　泊）
		男・女	(1) (2)	月　　日～　月　　日（　　泊）
		男・女	(1) (2)	月　　日～　月　　日（　　泊）
		男・女	(1) (2)	月　　日～　月　　日（　　泊）

航空券申込書

	搭　乗　月　日	記　号	区　　間	氏名　カタカナ	年　　齢
例	9月　　23日	T-2	東京　→　福岡	キンキ　タロウ	38
	月　　日		→		
	月　　日		→		
	月　　日		→		

「情報処理学会論文誌」査読制度の改善のお知らせ

論文誌編集委員会

投稿者サービスの向上と、より大局的観点からの査読を目指して、査読制度が大きく改善されます。

論文誌編集委員会では、論文誌の改善に関し、「査読の質の向上」、「投稿者へのサービスの改善」、「創造的研究の奨励」の3つの課題にまとめて、この1年余りの間、議論を重ねてまいりました。同時にアンケート調査も実施し、問題の所在を明らかにしました。

近年、研究者が多忙となり、査読報告がかなり簡素になっていることが気になります。また、編集委員会では、査読結果に対して疑問を感じることもたまに起きています。評価基準に関しても、論文としての体裁や、成果の評価が完備か否かの議論が、アイデアの素晴らしさ、波及効果の大きさの議論に先行する傾向も見うけられるように思います。社会では価値の多様化が益々進み、インターネット上では多様なアイデアが次々と生まれ、多くの人々により試され育てられています。どのような論文が掲載され、どのような論文がリジェクトされるかは、単に論文誌の品位と権威の問題ではなく、若い研究者の生き様にも影響を及ぼし、次世代の教育や社会の繁栄にも影響を及ぼすことになります。

論文投稿を一層促し、質の高い論文を集め、論文誌を情報処理分野における基幹論文誌として一層育てるには投稿者に対するサービスの改善が重要です。中でも査読期間の短縮がもっとも重要です。特に、査読辞退の続出や、判定が割れて第3査読者にまわることによって査読期間が長くなるケースを改善する必要があります。素晴らしいアイデアを、たとえそれがまだ萌芽的であって、十分に評価できる段階でなくとも、勇気をもって取り上げ、奨励することは大変難しいことです。しかし、それを行わないと、学会の指導力や競争力が急速に低下するでしょう。

以上の問題を解決するには、査読制度の見直しと、査読基準の見直しが必要ですが、後者は価値観に関する問題であり、慎重な扱いが必要なことから、平成8年度は査読制度の見直しによって、以上の課題に関する改善を試みました。その結果、編集委員にメタレビューア役を果たしていただく改善策をまとめ、平成9年8月1日以降の受理論文から新制度を適用することにいたしました。

新査読制度の詳細は次号に公示されますが、投稿者から見た場合、以下のような点が改善されます。

- (1) 査読者の選定に関して担当編集委員が責任を持って当たりますので、査読辞退が生じた場合も速やかに対応することができます。
- (2) 2人の査読者の他に、担当編集委員も投稿論文を査読します。担当編集委員は査読者の報告に疑問があるときには個別に意見を求めることができ、これに基づき総合的に判断した結論を編集委員会に報告します。査読者の誤解や、判断基準のばらつきがこれにより改善され、より大局的観点からの評価が行われることになります。査読の督促は事務局と担当編集委員の両者によって行われます。
- (3) 担当編集委員が判断に窮する場合には第2担当編集委員を選び、2人で査読者の意見を尊重しながら迅速に判定を下します。この際に重ねて著者への照会を行うことはありません。従来のように、第3査読者を立てることがありませんので査読期間が短縮されます。
- (4) 査読プロセスにおける各種連絡には電子メールを活用し、連絡の迅速化に努めます。査読制度の改善に加えて、以下のサービスも実施します。
- (5) 査読の進捗状況をウェブで公開し、投稿者へのサービスの向上を図ります。
- (6) 12月の編集委員会を1日に設定し、学位審査の手続きに間に合うようにします。
- (7) 学会がウェブ公開している掲載論文の抄録から著者のホームページへのリンクの設定サービスも既に開始しています。

論文誌編集委員会では、情報処理学会論文誌が情報処理分野における基幹論文誌として益々発展することを願って、今後とも会員の皆様の意見を取り入れ一層の改善を図ってまいります。会員の皆様の投稿をお待ちしております。

情報処理学会「書籍」申込書 (本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

申 込 者

A : 会員／非会員	(1) 会員	(2) 学生会員	(3) 賛助会員	(4) 購読員	(5) 非会員
B : 会員 No.			C : ご氏名		
D : 勤務先			E : ご所属		
F : ご住所	〒				
G : TEL			H : Fax		
I : e-mail					

送本先、照会先などが異なる場合は下記に記入のこと

J : 照会先／送本先

「購入希望書籍」リスト

書籍名／コード名	希望部数 (冊)	単価 (円)	金額 (円)
K-1-(a) :	K-1-(b) :	K-1-(c) :	K-1--(d) :
K-2-(a) :	K-2-(b) :	K-2-(c) :	K-2--(d) :
K-3-(a) :	K-3-(b) :	K-3-(c) :	K-3--(d) :
K-4-(a) :	K-4-(b) :	K-4-(c) :	K-4--(d) :
K-5-(a) :	K-5-(b) :	K-5-(c) :	K-5--(d) :
K-6-(a) :	K-6-(b) :	K-6-(c) :	K-6--(d) :

M : 支払方法	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *
	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *
	(4) 現金持参
	(5) 現金書留
	[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] * : 送金日が分かる場合、記入のこと

N : 送金名義人

O-1 : 請求書 通 O-2 : 見積書 通 O-3 : 納品書 通

P : 請求書記載名義

Q : 送金に関する照会先

申込先 (社) 情報処理学会 図書係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

e-mail: tosho@ipsj.or.jp Tel (03) 5484-3535 Fax (03) 5484-3534

http://www.ipsj.or.jp/tosho.html からもお申し込みいただけます。

*e-mail での申込み：各項目はカンマ (,) で区切り、(1) ... (5) は選択、その他は文字を記入のこと。

[例] A : (1), B : 999999, C : 情報太郎, ... K-1-(a) : 情報処理 Vol.38 No.3, K-1-(b) : 1, K-1-(c) : 1600, K-1-(d) : 1600, M : (1) (1 月 31 日送金予定), N : 情報太郎, O-1 : 1, O-2 : 1, O-3 : 1, P : (株) × × 電気, ...

会員の皆様へのお知らせ・お願い

[新入会員勧誘のお願い]

新年度に入り職場あるいは学校などで、情報処理に関心をお持ちの方、情報処理関連の学術研究あるいは事業に携わっている方でお近くに入会ご希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。「入会申込書」は学会誌奇数月号巻末に添付しております。

電気・電子情報通信・照明・映像情報メディア(旧テレビジョン)各学会会員で在会証明書を入会申込書に添付されますと入会金(2,000 円)が免除になります。

なお、入会に関する詳しいご案内については、「入会のおすすめ」(3 月・9 月号巻末)または本会の WWW ホームページ <http://www.ipsj.or.jp/> をご参照ください。また、多多数必要な場合には送付先住所をご記入のうえ照会先にご請求ください(e-mail, Fax 可)。

[論文誌のご購読について]

「情報処理学会論文誌」(月刊)は会員の未発表論文・テクニカルノートを中心に誌上討論も加えて構成されている有料頒布論文誌です。まだ購読されていない方がおられましたらぜひ新年度から購読をされることをお勧めいたします。アブストラクトにつきましては毎月掲載しておりますが、既掲載論文は本会の WWW ホームページでご覧いただけます。

・年間購読料	個人会員, 賛助会員	6,930 円(購読料 6,600 円+消費税 330 円)
	非会員	17,010 円(購読料 16,200 円+消費税 810 円)

[平成 9 年度会費および論文誌購読費のご納入について]

1. 口座自動振替登録会員の方

去る 3 月 27 日(木)に振替させていただきました。通帳には「ダイヤモンドファクター」「コウザフリカエ」「DF・ジョウショカイヒ」「会費 ジョウショガツカイ」と印字されておりますので確認をお願いいたします。

2. 会費および論文誌購読費未納の会員(一括扱いを除く)の方

本年度会費および論文誌購読費をまだご納入いただいていない方は、早急にご送金ください。送金方法は専用の郵便振替用紙(1 月中旬送付済)をご利用ください。

また、お近くに納付書等が届いていないという会員の方がおられましたら、至急照会先までお知らせくださいますようお願いください。

[会費および購読費の口座自動払込制度のご案内]

会費および購読費のご納入には、手続きが簡単で便利な自動払込制度をご利用ください。個人会員の方で銀行あるいは郵便局に口座をお持ちのかたなら、どなたでも登録できます。申込等詳細につきましては 3 月号(会告 25 頁)をご参照ください。7 月振替をご希望の方は 6 月 13 日(金)までに手続きを完了してください。

[会員登録データの変更について]

会員の異動によりこの時期には機関誌等の返戻が多数発生いたします。送付先住所等に変更が生じた場合には、早急に「変更連絡届」(学会誌偶数月号巻末添付)等書面にて照会先にご連絡ください(e-mail, Fax 可)。電子メールをご利用の際には、必ず会員番号、氏名を明記してください。毎月 20 日締切で、翌月号から変更となります。また、会員登録データの追加(連絡先電子メール等)、変更連絡も同様に行ってください。会員の皆様への連絡等は登録データを基にいたしております。最新データの登録にご協力をお願いいたします。

なお、会員資格は毎年自動継続になっております。退会を希望される会員の方は、退会届(会員番号・氏名・退会年月・退会希望の旨とその理由を明記したもの)を書面等にて照会先にご提出ください(e-mail, Fax 可)。

[銀行送金のご利用について]

本会への会費、購読費、参加費等のご送金を銀行でされます場合には、別途送金詳細(金融機関、内訳、金額、送金日等)を事務局にご連絡ください(e-mail, Fax 可)。4 月～6 月にかけては送金が多く、入金処理を迅速かつ正確に行うためにも会員皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

照 会 先 情報処理学会 会員係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

e-mail: mem@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

人材募集



●平成 10 年度基礎科学特別研究員

- 募集人員 70 名程度
 専門分野 物理学, 化学, 生物科学, 医科学, 工学の各分野で理化学研究所で実施可能な研究
 応募資格 平成 10 年 4 月 1 日現在 35 歳未満で, 博士号取得者またはこれと同等の能力を有すると認められる方, 日本に永住権を有さない外国人にあっては上記に加え, 応募日現在で日本国に在住し日本国の大学院博士課程を修了(見込み可)し, 博士号を取得(見込み可)の方
 首任時期 平成 10 年 4 月 1 日
 契約期間 連続して最長 3 年間を限度とし, 毎年度所要の評価により契約更新
 応募締切 平成 9 年 5 月 30 日(必着)
 応募要項 応募要項の請求は下記 Fax または e-mail へ郵便番号, 住所, 氏名(漢字およびカタカナ)を記入し送信すること *要項代は無料です。
- 送付先/照会先 〒351-01 埼玉県和光市広沢 2-1 理化学研究所 研究業務部
 若手研究員制度推進室基礎科学特別研究員担当
 Tel(048)467-9268 (直通) Fax(048)463-3687 e-mail:wakate@postman.riken.go.jp

●大阪産業大学工学部情報システム工学科

- 募集人員 講師, 助教授または教授 2 名
 専門分野 生体情報工学, 計算機工学
 応募資格 博士の学位を有する方
 首任時期 平成 10 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書, 研究業績目録, 募集専門分野に関する主要論文別刷
 応募締切 平成 9 年 6 月 15 日
- 送付先/照会先 〒574 大阪府大東市中垣内 3-1-1 大阪産業大学工学部情報システム工学科 主任
 e-mail:marutani@ise.osaka-sandai.ac.jp Tel(0720)75-3001 Fax(0720)70-1401

●和歌山大学システム情報学センター

- 募集人員 (1) 教授 1 名, (2) 助手 1 名
 専門分野 情報工学, 情報科学
 応募資格 情報環境の構築と運営に従事できる方で (1) については大学院博士課程の指導ができる方が望ましい, (2) については大学院修士課程修了(見込み含む)以上の方
 首任時期 平成 10 年 4 月までのできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書, 研究業績書, 主要論文別刷, 研究活動報告書, 研究・教育に対する抱負(1000 字以内), 本人に関する所見を求め得る方 2 名の氏名・連絡先
 応募締切 平成 9 年 6 月 27 日
- 送付先/照会先 〒640 和歌山県和歌山市栄谷 930 和歌山大学システム情報学センター長 吉本富士市
 e-mail:fuji@sys.wakayama-u.ac.jp Tel(0734)54-0361(ext.5397) Fax(0734)54-0402
 「教官応募書在中」と朱書き書留

●鹿児島大学工学部情報工学科

募集人員 助手 1 名
所 属 情報システム工学講座
専門分野 論理設計, CAD, 画像処理関係, 人工知能, 生体情報工学, 電算機ソフト設計関係
応募資格 博士号を有する (遠くない将来取得可能含む) 30 歳以下の方
着任時期 平成 9 年 10 月 1 日予定
提出書類 履歴書, 健康診断書, 研究業績リスト, 抱負, 推薦書
応募締切 平成 9 年 6 月 30 日
送付先/照会先 〒 890 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-40 鹿児島大学工学部情報工学科 行田尚義
Tel(099)285-8443 Fax(099)285-8464
「情報工学科教官応募書類」と朱書き書留

●豊橋技術科学大学情報工学系

募集人員 助教授 (または講師) 1 名
専門分野 情報工学 (画像処理, 画像認識, コンピュータグラフィックス, VR などの少なくとも 1 分野で活動されている方)
応募資格 博士の学位を有し, 大学院学生を指導できる方
着任時期 随時 (ただし平成 10 年 4 月までに)
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷, 研究計画書
応募締切 平成 9 年 6 月 30 日
送付先/照会先 〒 441 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1 豊橋技術科学大学情報工学系 金子豊久
e-mail:kaneko@ics.tut.ac.jp Tel(0532)44-6760 (直通)

●東京都立航空工業高等専門学校電子工学科

募集人員 (1) 助教授または講師 1 名, (2) 助手 1 名
専門分野 (1) 計算機工学, (2) 固体物性で半導体 (実験系) 関係の方
担当科目 (1) ハードウェア関係科目, 計算機工学, 論理回路設計など工学実験ならびに演習
(2) 工学実験
応募資格 高等専門学校の教育・研究・学生指導に熱意をもち, (1) 博士の学位を有する, またはこれに匹敵する業績のある 30 ~ 45 歳程度の方, (2) 修士以上で博士の学位を取得見込みの 28 歳以下 (着任時) の方
着任時期 平成 10 年 4 月 1 日
提出書類 自筆履歴書, 業績一覧表 (研究論文, 著書, 研究発表等), 主要論文別刷, 教育経歴 (社内教育等を含む (助手は不要)), 高等専門学校における教育および研究に対する抱負 (1000 字程度), 推薦書, 健康診断書
*提出書類は返却いたしません
応募締切 平成 9 年 6 月 30 日 (必着)
送付先 〒 116 東京都荒川区南千住 8-52-1 東京都立航空工業高等専門学校 庶務係
照会先 電子工学科 主任 石井 好 Tel(03)3801-0145 <http://www.kouku-k.ac.jp/koubo>

▶大妻女子大学社会情報学科

- 募集人員 教授、助教授または講師 2 名
- 募集資格 (1) 統計学および演習、統計処理論および演習、社会統計学、管理工学、経営情報システム論などに関する講義を担当できる方、(2) 情報処理実習、情報処理機器概論、ソフトウェア概論、プログラミング論および演習などの講義を担当できる方、いずれも相談で一部変更可能
- 任時期 平成 10 年 4 月および平成 11 年 4 月
- 出書類 履歴書、業績リスト、希望採用年（どちらでもよい場合はその旨明記）、情報処理にかかわる能力、経験（使用可能な言語、システム管理にかかわる経験など）を簡単に説明した文書（書式自由）
- 募締切 平成 9 年 7 月 7 日
- 求先／照会先 〒 206 東京都多摩市唐木田 2-7-1 大妻女子大学社会情報学部社会情報学科社会情報処理学専攻
主任 野崎昭弘 Tel(0423)39-0058（直通） Fax(0423)39-0044

▶大阪工業大学電気工学科／電子工学科

- 募集人員 (1) 電気工学科 講師または助教授 1 名
(2) 電子工学科 講師 1 名
- 門分野 (1) 知能情報工学（人工知能、ソフトウェア、知能情報処理等）
* 計算機ソフトウェア関連科目の授業を担当
(2) コンピュータソフトウェア系（CAD/CG、画像工学等）
- 募集資格 (1) 博士の学位を有する 35 歳以下の方、(2) 博士の学位を有する（取得見込み含む）35 歳以下の方
- 任時期 平成 10 年 4 月 1 日
- 出書類 履歴書、業績書（いずれも所定用紙）、著書・論文（主要なもの 3 点以内、コピー可）、レポート（「教育を充実させるため実践してきた具体的事項」「就任後の教育に対する抱負」いずれかのテーマで 1000 字程度（様式任意））、健康診断書
- 募締切 平成 9 年 7 月 11 日（必着）
- 求先／照会先 〒 535 大阪府大阪市旭区大宮 5-16-1 大阪工業大学 庶務課
Tel(06)954-4097（直通） Fax(06)953-9496 <http://www.oit.ac.jp>

▶神奈川大学工学部電気工学科

- 募集人員 助教授または専任講師 1 名
- 門分野 情報（コンピュータソフトウェア・アーキテクチャ）
- 当科目 情報処理・演習関係科目、電気専門基礎科目
- 募集資格 教育に熱意をもち、専攻分野の研究業績があり、博士の学位を有する（取得見込み含む）35 歳前後までの方
- 任時期 平成 10 年 4 月 1 日
- 出書類 履歴書、研究業績目録、主要論文別刷（コピー可）、学歴・業績等概略（形式あり）
- 募締切 平成 9 年 7 月 11 日（必着）
- 付先 〒 221 神奈川県横浜市神奈川区六角橋 3-27-1 神奈川大学（学務課気付） 工学部長 桜井邦明
「電気工学科教員応募書類（情報）」と朱書き書留
- 会先 工学部電気工学科 主任 遠藤信行 e-mail: endoh@cc.kanagawa-u.ac.jp
Tel(045)481-5661(ext.3266) Fax(045)491-7915

●筑波技術短期大学電子情報学科情報工学専攻

募集人員 教授または助教授 1 名
専門分野 ソフトウェア工学 (オペレーティングシステム, データ構造, データベースについても素養があれば望ましい).
応募資格 博士の学位を有し (見込み含む), 聴覚障害者の高等教育の実践に意欲のある方
着任時期 平成 10 年 4 月 1 日
提出書類 自筆履歴書, 研究業績リスト (著書, 原著研究論文, 国際会議講演論文, その他, 分けて記載), 推薦書, 主要論文別刷 (コピー可), 聴覚障害者の高等教育に関する抱負 (1000 字程度)
応募締切 平成 9 年 7 月 31 日
送付先/照会先 〒 305 茨城県つくば市天久保 4-3-15 筑波技術短期大学電子情報学科情報工学専攻
主任 小池将貴 e-mail:koike@a.tsukuba-tech.ac.jp Tel(0298)58-9396 Fax(0298)58-9405
「教官応募書類在中」と朱書き書留

●東京大学大型計算機センター

募集人員 助教授 1 名
専門分野 各種高性能科学計算に関連する研究開発
応募資格 平成 9 年 4 月 1 日現在で 40 歳未満で博士の学位を取得している方
着任時期 平成 9 年 10 月 1 日以降のなるべく早い時期
提出書類 履歴書, 最終学歴の卒業証明書および学業成績証明書 (大学院修了の場合は出身大学学部の成績証明書も含めること), 研究歴, 業績リスト (主要論文別刷添付), 推薦書 (学部長, 指導教官, 研究室主任, 本センター運営委員等によるもの), 本センターに応募する理由および抱負 (1200 字以内)
応募締切 平成 9 年 8 月 1 日 (必着)
送付先 〒 113 東京都文京区弥生 2-11-16 東京大学大型計算機センター センター長親展
「応募書類在中」と朱書き書留
照会先 事務部庶務掛 shomu@cc.u-tokyo.ac.jp Tel(03)3812-2111(ext.2710)
その他 場合によっては面接あり

●広島市立大学情報科学部知能情報システム工学科

募集人員 助教授 1 名
所属 知能システム講座
担当科目 人工知能, プログラミングとプログラミング言語 II (LISP, Prolog)
専門分野 人工知能 (言語学習, エキスパートシステム等)
応募資格 博士号を有し大学院で学生の研究指導が可能な 40 歳未満の方
着任時期 平成 10 年 4 月 1 日
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 研究概要, 論文別刷, 研究計画書, 推薦状
応募締切 平成 9 年 9 月 30 日
送付先 〒 731-31 広島県広島市安佐南区大塚東 3-4-1 広島市立大学情報科学部 教授 磯道義典
照会先 e-mail:isomichi@its.hiroshima-cu.ac.jp Tel(082)830-1548